

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

①定員充足の見込み

1) 学生確保に関する市場の概況および本学の対策の概要

東海エリアの18歳人口の推移は、平成28年の約15万人から、平成29年以降減少に転じ、平成38年には約13.5万人となることが予測されています（資料1 P.2）。

しかし、この期間の18歳人口の減少率に目を向けてみると、全国平均が-9.0%の減少であるのに対し、東海エリアは-7.5%であり、全国に比べその減少幅は緩やかであることがわかります。

このような人口減少のトレンドの中で、本学は、長年地元で培ってきたブランド力に基づき、「地元密着」「女子学生の獲得」の2つの方向から、東海エリアの潜在的な進学需要を取り込むことで、学生の安定的な確保を目指しています。

まず、東海エリアは地元大学への進学志向（地元残留率）の非常に高い地域であり、本学においても、入学生の多くを東海エリア出身者が占めます。

東海エリアの進学希望者の地元大学進学率（地元残留率）は、平成27年度48.9%であり、およそ半数の学生が地元の大学に進学しています。この数値は、10年前と比較して3.5ポイントも増加しており、受験生の地元志向は年々高まっていることがわかります（資料2 P.14）。

こうした傾向を受け、本学では、高校説明会や進学相談会など、東海エリアの高校生をメインターゲットとする広報活動を展開してきました。オープンキャンパスの参加者数も近年急増しており、本学の魅力を伝えるための諸施策は、入学志願者の増加という大きな成果をもたらしています。

次に、女子生徒の動きに着目すると、この地元進学傾向は、より顕著なものとなります。東海エリアの女子生徒の地元大学進学率（地元残留率）も、10年前の平成18年から4ポイントほど増加しています（資料2 P.16）。

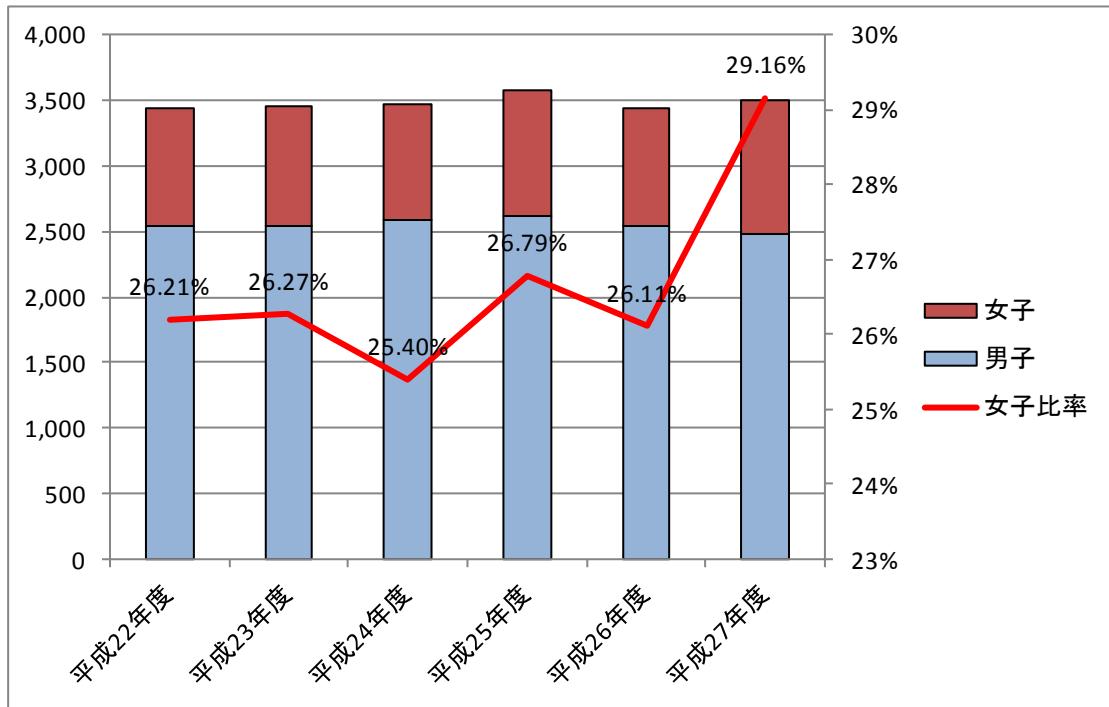
高まりを見せる女子生徒の地元大学進学需要を吸収するため、本学では、オープンキャンパスでの女子生徒向けの特別ブースの設置といった積極的な広報活動や就職への不安を解消するための理工系女子を対象としたキャリアアップセミナーの開催など、入り口から出口まで全学をあげた施策を展開しています。

こうした試みが奏功し、入学生における女子学生比率も平成24年から徐々に増加を見せ、平成27年度には女子学生が入学生の29.2%を占めるまでとなりました（図1）。

以上のことから、東海エリアは、今後も大学進学に係る継続的な需要が見込める地域であると言え、需要者である高校生に寄り添ったさまざまな施策を展開することにより、安定して学生を確保することができると本学は考えております。

※東海エリア（愛知県・岐阜県・三重県・静岡県）

(図 1) 名城大学入学生における女子学生比率



2) 東海エリアにおける本学のイメージ

株式会社リクルートマーケティングパートナーズによる「進学ブランド力調査」において、本学は、平成 26 年度・平成 27 年度の 2 年連続で東海エリアの「志願したい大学」1 位を獲得するなど、受験生から強い支持を得ています（資料 3 P.1、P.5、資料 4 P.1、P.5）。

また、同調査のイメージランキングにおいては「学校が発展していく可能性がある」が 4 位、「教授・講師陣が魅力的である」が 5 位、「キャンパスがきれいである」が 2 位を獲得しており、教育、施設環境といった具体的な項目においてもポジティブなイメージが浸透しています（資料 5 P.1～2）。

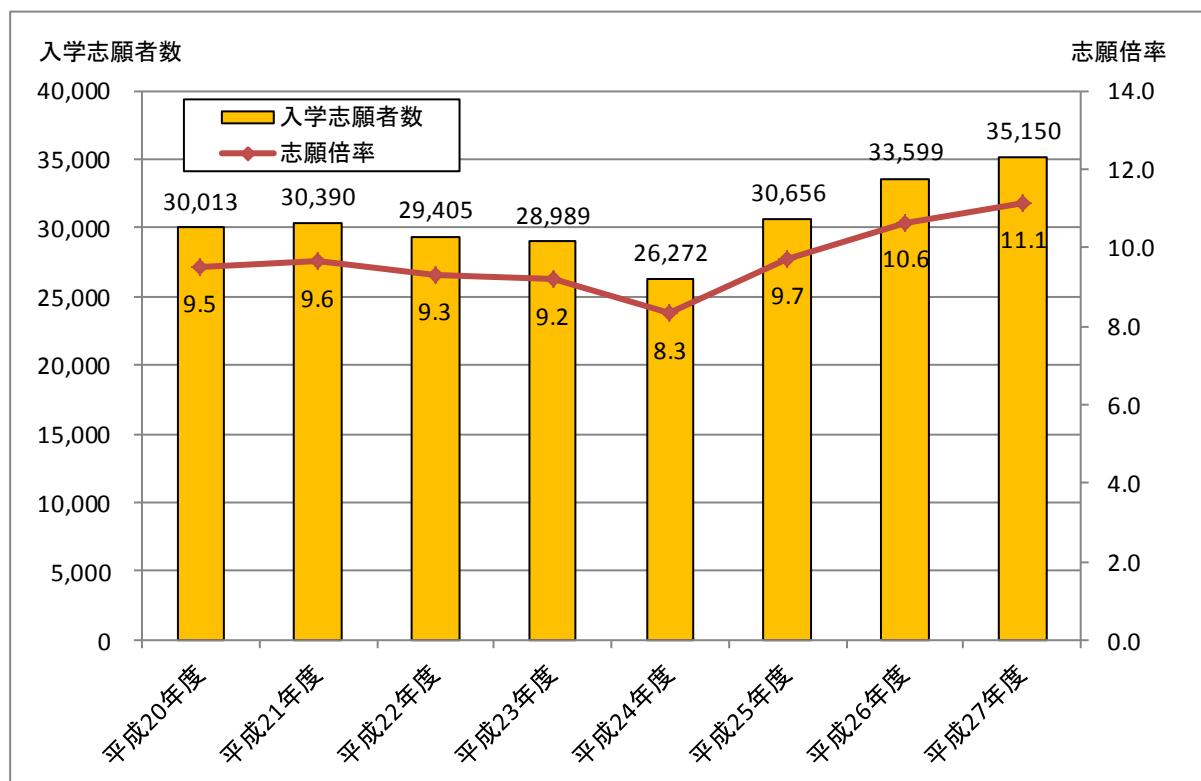
これらは、本学終身教授赤崎勇先生のノーベル物理学賞受賞やキャンパス移転・再開発といった本学の近年の動きが、高校生の間で広く認知されていることを示しています。高校生からのさらなる支持を獲得するため、本学では、今後も、教育内容の充実および情報発信力の強化に全学的に取り組んでいきます。

3) 入学志願者数推移から見る本学のポジション

志願者数は安定的に推移しています。平成 24 年度に一時的に落ち込みを見せるものの、平成 25 年度には前年以上の水準まで回復し、以降 3 年連続で増加しており、平成 27 年度には過去最高となる 35,150 名の志願者を確保しています（図 2）。

この数値は、東海エリアの全大学中 1 位の数値であり、本学のブランド力と志願者数は名実ともに高校生からの強い支持を得ていることから、定員増加の折にも、東海エリアにおける潜在的進学需要に対して十分に対応することができると考えております。

(図2) 過去8年間の入学志願者数推移（大学全体）



4) 定員設定の考え方及び変更を行う学部学科の状況

定員設定の考え方については、過去 5 年間における本学の志願者数や入学者数の状況、就職状況、さらに全国的な学部系統別の志願・入学動向や東海エリアの高校生を対象とした進学調査等の情報を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しない範囲で、以下のとおり定員を設定しました。なお、理工学部環境創造学科については、志願者の動向及び土木系の人材需要動向を踏まえ、定員を削減します。

学部	学科	現行 (平成 28 年度)		改定 (平成 29 年度)		増減	
		入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
法学部	法学科	400	1,600	400	1,600		
経営学部	経営学科	195	780	215	860	20	80
	国際経営学科	90	360	95	380	5	20
経済学部	経済学科	185	740	210	840	25	100
	産業社会学科	100	400	100	400		
理工学部	数学科	85	340	90	360	5	20
	情報工学科	145	580	150	600	5	20
	電気電子工学科	130	520	150	600	20	80
	材料機能工学科	65	260	80	320	15	60
	応用化学科	60	240	70	280	10	40
	機械工学科	120	480	125	500	5	20
	交通機械工学科	110	440	125	500	15	60
	メカトロニクス工学科	75	300	80	320	5	20
	社会基盤デザイン工学科	90	360	90	360		
	環境創造学科	90	360	80	320	△10	△40
	建築学科	135	540	145	580	10	40
農学部	生物資源学科	100	400	110	440	10	40
	応用生物化学科	100	400	110	440	10	40
	生物環境科学科	100	400	110	440	10	40
薬学部	薬学科	250	1,500	265	1,590	15	90
都市情報学部	都市情報学科	200	800	220	880	20	80
人間学部	人間学科	200	800	220	880	20	80
外国語学部	国際英語学科	130	520	130	520		
合計		3,155	13,120	3,370	14,010	215	890

経営学部

経営学科

経営学部経営学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 195 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,681 名 (8.6 倍)、入学者数 208 名、平成 24 年度は志願者数 1,040 名 (5.3

倍)、入学者数 267 名、平成 25 年度は志願者数 2,023 名 (10.4 倍)、入学者数 204 名、平成 26 年度は志願者数 1,513 名 (7.8 倍)、入学者数 238 名、平成 27 年度は志願者数 1,660 名 (8.5 倍)、入学者数 201 名、平均 8.1 倍と高い志願倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.4% (実就職率平均 87.8%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、日本私立学校振興・共済事業団が公表している学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「経営学部」の志願者数が 188,060 名、188,841 名、193,204 名となっており、安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 195 名から 215 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

※ 就職率：就職者／就職希望者、実就職率：就職者／(卒業者－大学院進学者)

国際経営学科

経営学部国際経営学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 90 名に対し、平成 23 年度は志願者数 377 名 (4.2 倍)、入学者数 96 名、平成 24 年度は志願者数 234 名 (2.6 倍)、入学者数 124 名、平成 25 年度は志願者数 412 名 (4.6 倍)、入学者数 112 名、平成 26 年度は志願者数 266 名 (3.0 倍)、入学者数 98 名、平成 27 年度は志願者数 510 名 (5.7 倍)、入学者数 101 名、平均 4.0 倍の志願倍率となっており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.0% (実就職率平均 84.9%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「経営学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 90 名から 95 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に入学定員の充足が見込めると考えています。

経済学部

経済学科

経済学部経済学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 185 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,415 名 (7.6 倍)、入学者数 224 名、平成 24 年度は志願者数 1,565 名 (8.5 倍)、入学者数 214 名、平成 25 年度は志願者数 1,431 名 (7.7 倍)、入学者数 208 名、平成 26 年度は志願者数 1,610 名 (8.7 倍)、入学者数 209 名、平成 27 年度は志願者数 1,673 名 (9.0 倍)、入学者数 202 名、平均 8.3 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.2% (実就職率平均 86.1%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有

しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「経済学部」の志願者数が 293,774 名、301,231 名、312,763 名となっており、安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 185 名から 210 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

理工学部

※理工学部各学科の入学定員について、平成 20～24 年度までは數学科以外の学科において系別募集と学科別募集を実施しており、後述する平成 23～24 年度の入学定員は系別募集を含まない学科別募集のみの人数です。また、平成 25 年度には、応用化学科及びメカトロニクス工学科の新設に伴い、數学科以外の学科において入学定員を変更しました。

數学科

理工学部數学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 85 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,306 名（15.4 倍）、入学者数 90 名、平成 24 年度は志願者数 1,008 名（11.9 倍）、入学者数 93 名、平成 25 年度は志願者数 1,263 名（14.9 倍）、入学者数 94 名、平成 26 年度は志願者数 1,320 名（15.5 倍）、入学者数 82 名、平成 27 年度は志願者数 1,238 名（14.6 倍）、入学者数 98 名、平均 14.4 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.4%（実就職率平均 87.2%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「理学部」の志願者数が 49,726 名、51,870 名、47,664 名となっており、安定した需要が見込まれます（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 85 名から 90 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

情報工学科

理工学部情報工学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23～24 年度の学科別募集の入学定員 101 名、平成 25～27 年度の入学定員 145 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,484 名（14.7 倍）、入学者数 130 名、平成 24 年度は志願者数 1,301 名（12.9 倍）、入学者数 112 名、平成 25 年度は志願者数 2,444 名（16.9 倍）、入学者数 160 名、平成 26 年度は志願者数 2,618 名（18.1 倍）、入学者数 154 名、平成 27 年度は志願者数 2,899 名（20.0 倍）、入学者数 156 名、平均 16.5 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.9%（実就職率平均 87.9%）

となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「理工学部」の志願者数が 230,769 名、247,188 名、251,299 名となっており、安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 145 名から 150 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

電気電子工学科

理工学部電気電子工学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23~24 年度の学科別募集の入学定員 101 名、平成 25~27 年度の入学定員 130 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,398 名（13.8 倍）、入学者数 112 名、平成 24 年度は志願者数 1,128 名（11.2 倍）、入学者数 99 名、平成 25 年度は志願者数 2,125 名（16.3 倍）、入学者数 152 名、平成 26 年度は志願者数 2,258 名（17.4 倍）、入学者数 138 名、平成 27 年度は志願者数 2,271 名（17.5 倍）、入学者数 133 名、平均 15.2 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.0%（実就職率平均 92.4%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 130 名から 150 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

材料機能工学科

理工学部材料機能工学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23~24 年度の学科別募集の入学定員 67 名、平成 25~27 年度の入学定員 65 名に対し、平成 23 年度は志願者数 889 名（13.3 倍）、入学者数 75 名、平成 24 年度は志願者数 859 名（12.8 倍）、入学者数 73 名、平成 25 年度は志願者数 895 名（13.8 倍）、入学者数 90 名、平成 26 年度は志願者数 1,199 名（18.4 倍）、入学者数 60 名、平成 27 年度は志願者数 954 名（14.7 倍）、入学者数 60 名、平均 14.6 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.6%（実就職率平均 92.8%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 65 名から 80 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

応用化学科

理工学部応用化学科の過去 3 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 60 名に対し、平成 25 年度は志願者数 1,899 名 (31.7 倍)、入学者数 67 名、平成 26 年度は志願者数 1,598 名 (26.6 倍)、入学者数 55 名、平成 27 年度は志願者数 1,704 名 (28.4 倍)、入学者数 63 名、平均 28.9 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数の状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 60 名から 70 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

機械工学科

理工学部機械工学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23~24 年度の学科別募集の入学定員 101 名、平成 25~27 年度の入学定員 120 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,646 名 (16.3 倍)、入学者数 126 名、平成 24 年度は志願者数 1,387 名 (13.7 倍)、入学者数 108 名、平成 25 年度は志願者数 2,384 名 (19.9 倍)、入学者数 121 名、平成 26 年度は志願者数 2,527 名 (21.1 倍)、入学者数 159 名、平成 27 年度は志願者数 2,991 名 (24.9 倍)、入学者数 146 名、平均 19.2 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.8% (実就職率平均 93.9%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 120 名から 125 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

交通機械工学科

理工学部交通機械工学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23~24 年度の学科別募集の入学定員 91 名、平成 25~27 年度の入学定員 110 名に対し、平成 23 年度は志願者数 579 名 (6.4 倍)、入学者数 99 名、平成 24 年度は志願者数 658 名 (7.2 倍)、入学者数 100 名、平成 25 年度は志願者数 1,041 名 (9.5 倍)、入学者数 120 名、平成 26 年度は志願者数 1,500 名 (13.6 倍)、入学者数 134 名、平成 27 年度は志願者数 1,353 名 (12.3 倍)、入学者数 109 名、平均 9.8 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.3% (実就職率平均 95.0%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上とのおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 110 名から 125 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

メカトロニクス工学科

理工学部メカトロニクス工学科の過去 3 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 75 名に対し、平成 25 年度は志願者数 872 名（11.6 倍）、入学者数 105 名、平成 26 年度は志願者数 973 名（13.0 倍）、入学者数 73 名、平成 27 年度は志願者数 991 名（13.2 倍）、入学者数 81 名、平均 12.6 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上とのおり、志願者数、入学者数の状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 75 名から 80 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

環境創造学科

理工学部環境創造学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23～24 年度の学科別募集の入学定員 67 名、平成 25～27 年度の入学定員 90 名に対し、平成 23 年度は志願者数 453 名（6.8 倍）、入学者数 87 名、平成 24 年度は志願者数 531 名（7.9 倍）、入学者数 64 名、平成 25 年度は志願者数 500 名（5.6 倍）、入学者数 98 名、平成 26 年度は志願者数 965 名（10.7 倍）、入学者数 91 名、平成 27 年度は志願者数 940 名（10.4 倍）、入学者数 91 名となっており、平均 8.3 倍の倍率を維持しているものの、理工学部の他学科と比較して低い状況となっています。

上記の状況に加え、土木系の就職需要の見通しが不透明であることから、入学定員を 90 名から 80 名に削減します。

建築学科

理工学部建築学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、平成 23～24 年度の学科別募集の入学定員 95 名、平成 25～27 年度の入学定員 135 名に対し、平成 23 年度は志願者数 969 名（10.2 倍）、入学者数 118 名、平成 24 年度は志願者数 899 名（9.5 倍）、入学者数 115 名、平成 25 年度は志願者数 1,849 名（13.7 倍）、入学者数 149 名、平成 26 年度は志願者数 1,998 名（14.8 倍）、入学者数 155 名、平成 27 年度は志願者数 2,152 名（15.9 倍）、入学者数 166 名、平均 12.8 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.5%（実就職率平均 91.8%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「理工学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 135 名から 145 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

農学部

生物資源学科

農学部生物資源学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 100 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,323 名 (13.2 倍)、入学者数 112 名、平成 24 年度は志願者数 1,043 名 (10.4 倍)、入学者数 113 名、平成 25 年度は志願者数 1,151 名 (11.5 倍)、入学者数 117 名、平成 26 年度は志願者数 1,150 名 (11.5 倍)、入学者数 110 名、平成 27 年度は志願者数 1,171 名 (11.7 倍)、入学者数 108 名、平均 11.7 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.3% (実就職率平均 89.9%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「農学部」の志願者数が 40,357 名、42,225 名、45,987 名となっており、安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 100 名から 110 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

応用生物化学科

農学部応用生物化学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 100 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,831 名 (18.3 倍)、入学者数 112 名、平成 24 年度は志願者数 1,764 名 (17.6 倍)、入学者数 104 名、平成 25 年度は志願者数 1,743 名 (17.4 倍)、入学者数 119 名、平成 26 年度は志願者数 1,882 名 (18.8 倍)、入学者数 114 名、平成 27 年度は志願者数 1,722 名 (17.2 倍)、入学者数 118 名、平均 17.9 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています (資料 8)。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.3% (実就職率平均 88.4%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「農学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります (資料 6 P.22、資料 7 P.22)。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 100 名から 110 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

生物環境科学科

農学部生物環境科学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 100 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,100 名（11.0 倍）、入学者数 140 名、平成 24 年度は志願者数 1,157 名（11.6 倍）、入学者数 105 名、平成 25 年度は志願者数 1,020 名（10.2 倍）、入学者数 108 名、平成 26 年度は志願者数 1,091 名（10.9 倍）、入学者数 100 名、平成 27 年度は志願者数 1,110 名（11.1 倍）、入学者数 114 名、平均 11.0 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 99.5%（実就職率平均 84.4%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向についても、「農学部」は前述のとおり安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 100 名から 110 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

薬学部

薬学部薬学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 250 名に対し、平成 23 年度は志願者数 2,119 名（8.5 倍）、入学者数 257 名、平成 24 年度は志願者数 1,993 名（8.0 倍）、入学者数 252 名、平成 25 年度は志願者数 2,261 名（9.0 倍）、入学者数 296 名、平成 26 年度は志願者数 2,642 名（10.6 倍）、入学者数 278 名、平成 27 年度は志願者数 2,740 名（11.0 倍）、入学者数 285 名、平均 9.4 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 100%（実就職率平均 98.4%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「薬学」の志願者数が 104,253 名、121,876 名、116,498 名となっており、安定した需要が見込まれるとともに、近年は上昇傾向にあります（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況に加えて、全国的な学部系統別志願者・入学者の動向を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 250 名から 265 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

都市情報学部

都市情報学部都市情報学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 200 名に対し、平成 23 年度は志願者数 824 名（4.1 倍）、入学者数 211 名、平成 24 年度は志願者数 808 名（4.0 倍）、入学者数 208 名、平成 25 年度は志願者数 679 名（3.4 倍）、入学者数 211 名、平成 26 年度は志願者数 723 名（3.6 倍）、入学者数 197 名、平成 27 年度は志願者数 1,483 名（7.4 倍）、入学者数 242 名、平均 4.5 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.4%（実就職率平均

82.7%) となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 200 名から 220 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

人間学部

人間学部人間学科の過去 5 年間の志願者数及び入学者数は、入学定員 200 名に対し、平成 23 年度は志願者数 1,535 名 (7.7 倍)、入学者数 214 名、平成 24 年度は志願者数 1,244 名 (6.2 倍)、入学者数 217 名、平成 25 年度は志願者数 1,284 名 (6.4 倍)、入学者数 248 名、平成 26 年度は志願者数 1,776 名 (8.9 倍)、入学者数 212 名、平成 27 年度は志願者数 1,200 名 (6.0 倍)、入学者数 230 名、平均 7.0 倍と高い倍率を維持しており、入学者選抜の機能を保った上で入学定員を充足しています（資料 8）。また、過去 5 年間の就職率の平均は 98.5%（実就職率平均 85.7%）となっていることから、学生の確保及び卒業後の進路について十分な実績を有しています。

また、学部系統別志願者・入学者動向では、平成 25 年度から 3 年間、「人文科学系」の志願者数が 512,645 名、510,840 名、512,590 名となっており、一定規模の需要が見込める分野であると推測できます（資料 6 P.22、資料 7 P.22）。

以上のとおり、志願者数、入学者数及び卒業生の就職状況を踏まえ、本学における教育の質を維持でき、かつ入学者選抜の機能が低下しないことを留意して、入学定員を 200 名から 220 名に増員します。定員変更後も、志願者数及び入学者数の実績から、十分に定員の充足が見込めると考えています。

収容定員の変更を行う当該学部の志願者状況、入学者状況は以上のとおり安定した数値を維持しており、また、東海エリアの地域性や各学部系統別志願動向からも安定的な需要が見込めることから、収容定員を変更した場合にも、学生確保は十分に見込めるものと考えています。

②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員充足の見込みの根拠となる客観的なデータは、添付資料1～8です。

資料1・2は、文部科学省が実施している「学校基本調査」の結果を基にして株式会社リクルートマーケティングパートナーズが経年変化を分析したデータであり、東海エリアにおいて18歳人口の減少率が全国比で低く推移していることや、地元残留率が他のエリアと比べて高いことを示しています。本学の入学生についても、東海エリア出身者の占める割合が高いことから、高校訪問や進学相談会、オープンキャンパスなど東海エリアの高校生をメインターゲットとした広報活動を展開しています。また、女子学生の地元残留率の上昇を踏まえて、女子学生をターゲットとした広報展開やセミナー等も実施しています。

東海エリアにおける18歳人口の推移や地元残留率の高さから、今後も大学進学に係る継続的な需要が見込めるため、上記のとおり広報活動を展開することで、安定して学生を確保できると考えています。

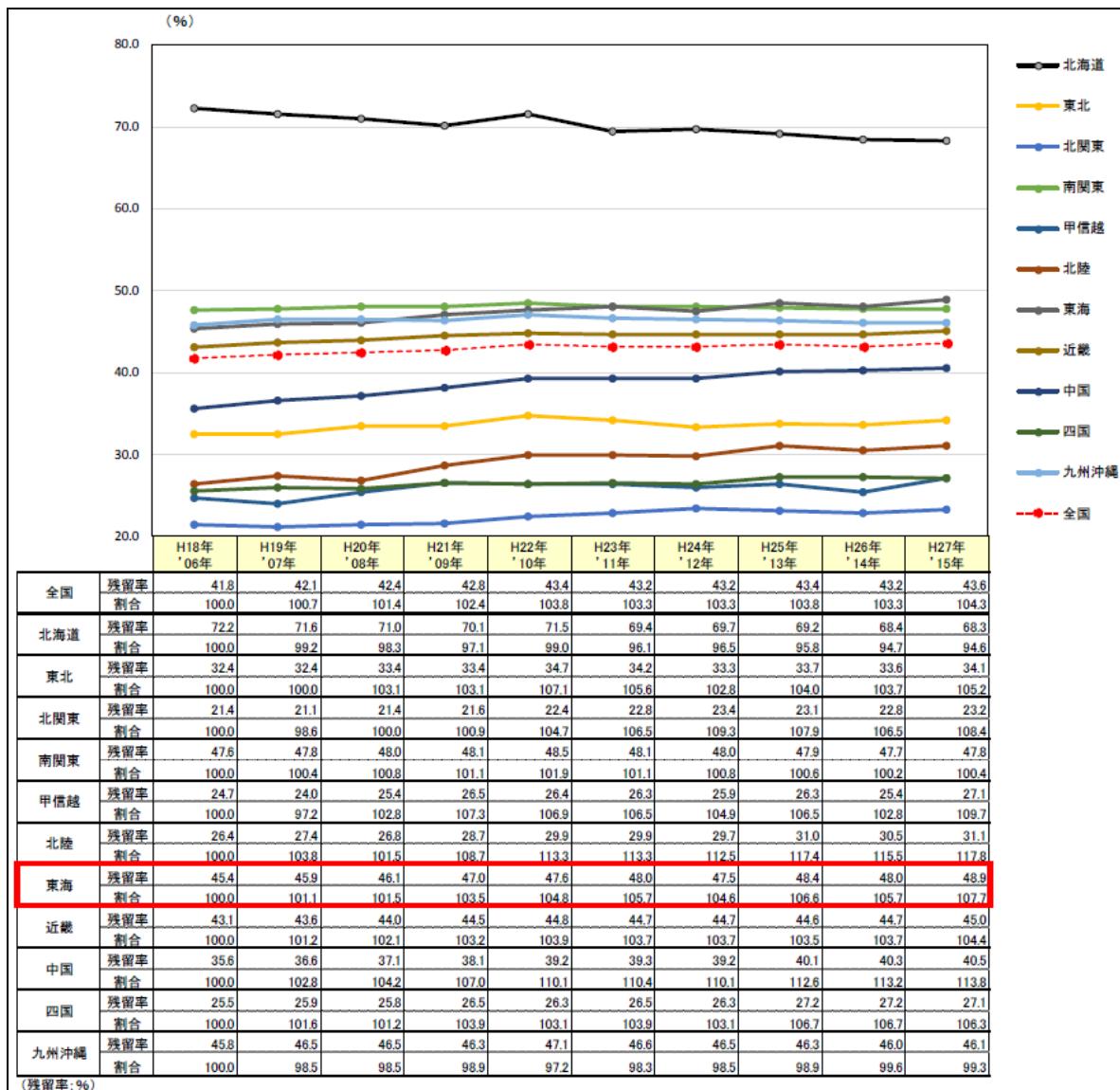
資料1：18歳人口予測、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向（東海版）2015年

18歳人口予測(全体：東海：2015～2026年)



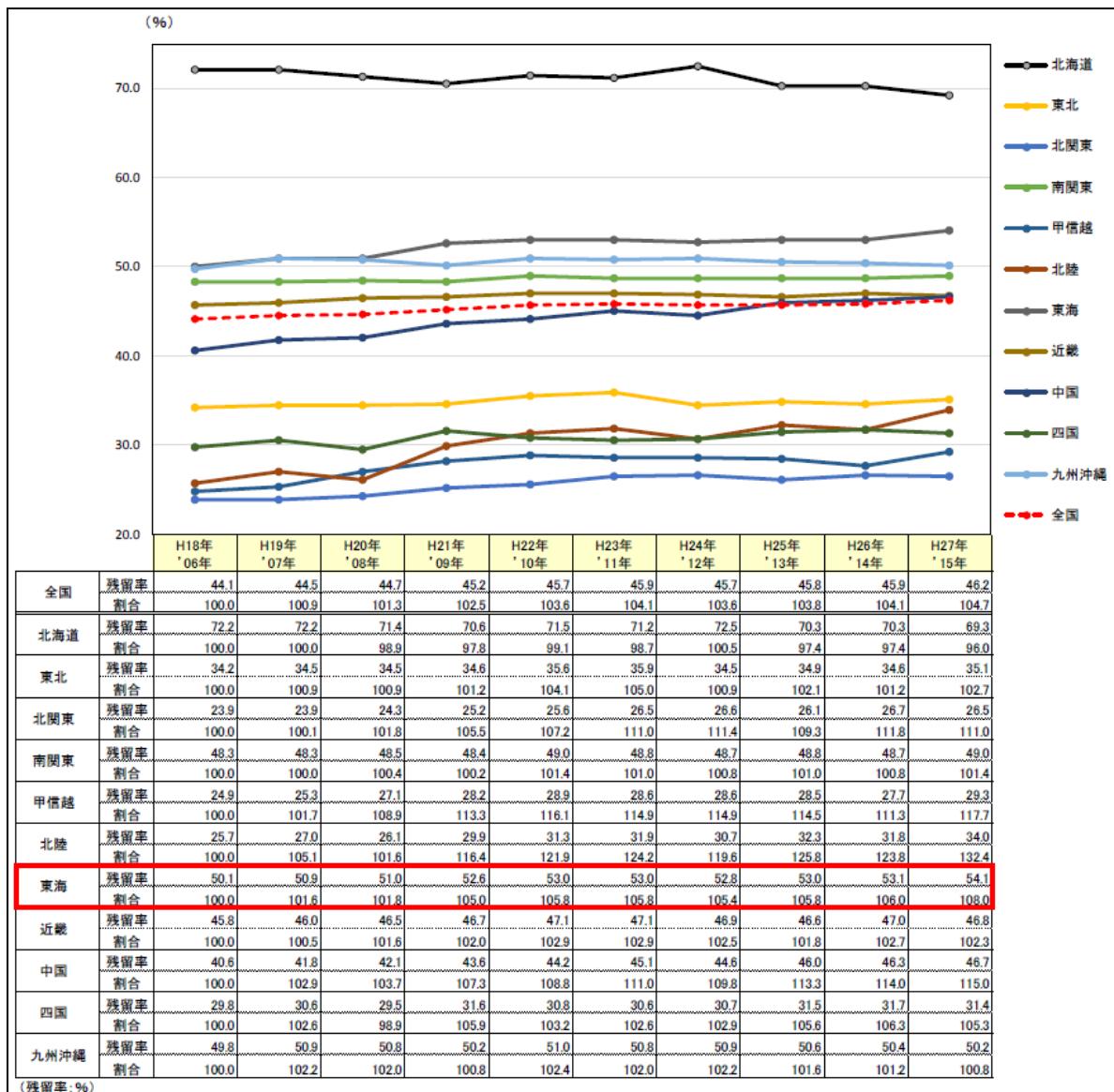
資料2：18歳人口予測、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向 2015年

地元残留率の推移（全体：大学進学者：エリア別：2006～2015年）



※地元残留率：自県内の進学者数（大学・短大）÷高等学校卒業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

地元残留率の推移（女子：大学進学者：エリア別：2006～2015年）



資料3～5は、株式会社リクルートマーケティングパートナーズが関東エリア、東海エリア、関西エリアの高校3年生に対して実施した進学ブランド力調査のデータであり、各大学に対する高校生の意向として、志願度、知名度に加え、様々なイメージ等について示しています。資料3～4は、平成26・27年度の東海エリアにおける「志願したい大学ランキング」において、本学が1位になったことを示しています。資料5については、平成27年度の進学ブランドランキングのイメージ項目別ランキングにおける本学の位置付けを示しています。

これらは、本学終身教授赤崎勇先生のノーベル物理学賞受賞やキャンパス移転・再開発といった本学の近年の動きが、高校生の間で広く認知されていることを示しており、受験生から強い支持が得られていると考えています。

資料3：「進学ブランド力調査2014」

志願度（東海エリア）			
全体			
順位	学校名	区分	志願度（%）
1 (2)	名城大学	私	9.6
2 (1)	名古屋大学	国	9.5
3 (4)	中京大学	私	9.1
4 (3)	南山大学	私	7.7
5 (5)	岐阜大学	国	6.6
6 (7)	愛知大学	私	6.3
7 (9)	三重大学	国	6.2
8 (11)	静岡大学	国	6.1
8 (8)	名古屋市立大学	公	6.1
10 (9)	愛知学院大学	私	5.6
11 (5)	名古屋工業大学	国	5.5
12 (12)	愛知県立大学	公	4.8
13 (12)	中部大学	私	4.7
14 (14)	愛知教育大学	国	4.6
15 (15)	愛知淑徳大学	私	3.9
16 (20)	名古屋外国語大学	私	3.1
17 (18)	金城学院大学	私	2.8
17 (16)	静岡県立大学	公	2.8
19 (19)	堀山女学園大学	私	2.6
20 (17)	常葉大学	私	2.5

資料4：「進学ブランド力調査2015」

志願度（東海エリア）			
全体			
順位	学校名	区分	志願度（%）
1 (1)	名城大学	私	9.4
2 (2)	名古屋大学	国	8.9
3 (3)	中京大学	私	7.2
4 (7)	三重大学	国	7.0
5 (5)	岐阜大学	国	6.8
6 (4)	南山大学	私	6.4
7 (8)	静岡大学	国	5.9
8 (11)	名古屋工業大学	国	5.5
9 (12)	愛知県立大学	公	5.2
9 (8)	名古屋市立大学	公	5.2
11 (6)	愛知大学	私	5.0
12 (14)	愛知教育大学	国	4.6
13 (10)	愛知学院大学	私	4.4
14 (15)	愛知淑徳大学	私	3.9
14 (13)	中部大学	私	3.9
16 (17)	静岡県立大学	公	3.1
17 (16)	名古屋外国語大学	私	2.8
18 (20)	常葉大学	私	2.6
19 (17)	金城学院大学	私	2.4
20 (21)	立命館大学	私	2.3

資料5：「進学ブランド力調査2015」

（『高校生に聞いた大学ブランドランキング2015』イメージ項目ランキング）

学校が発展していく可能性がある				教授・講師陣が魅力的である				キャンパスがきれいである			
東海エリア				東海エリア				東海エリア			
順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%
1(2)	名古屋大学	国	23.1	1(1)	東京大学	国	24.6	1(3)	名古屋大学	国	14.0
2(1)	東京大学	国	18.6	2(2)	名古屋大学	国	15.2	2(6)	名城大学	私	10.3
3(3)	京都大学	国	15.4	3(3)	京都大学	国	13.0	3(19)	青山学院大学	私	8.8
4(8)	名城大学	私	12.3	4(5)	慶應義塾大学	私	9.9	4(2)	東京大学	国	8.7
5(4)	慶應義塾大学	私	11.1	5(24)	名城大学	私	8.9	5(4)	愛知大学	私	8.2
6(7)	早稲田大学	私	10.6	6(11)	明治大学	私	8.0	6(6)	中京大学	私	8.0
7(15)	立命館大学	私	10.0	7(6)	一橋大学	国	6.6	7(13)	中部大学	私	7.9
8(8)	中京大学	私	8.0	7(4)	早稲田大学	私	6.6	8(8)	慶應義塾大学	私	7.4
8(6)	明治大学	私	8.0	9(30)	同志社大学	私	5.7	9(15)	立命館大学	私	7.3
10(14)	筑波大学	国	7.5	10(37)	横浜国立大学	国	4.7	10(10)	愛知学院大学	私	6.0
10(12)	東京理科大学	私	7.5					10(9)	明治大学	私	6.0
10(24)	横浜国立大学	国	7.5								

資料 6・7 は、日本私立学校振興・共済事業団が実施している「学校法人基礎調査」に基づいて志願者数や入学者数を集計したデータです。学部系統別の入学志願動向では、本学が定員変更を予定している薬学系・理工系・農学系・人文科学系・社会科学系の志願倍率が高水準で推移していることを示しており、今後も安定した需要が見込めます。

資料 6・7：平成 25～27 年度私立大学・短期大学等入学志願動向

区分・学部	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度
薬学	57	57	57	11,524	11,484	11,564	104,253	121,876	116,498	12,556	12,224	11,816	108.96	106.44	102.18
理工学部	26	27	29	16,435	16,660	17,411	230,769	247,188	251,299	17,912	18,007	18,725	108.99	108.09	107.55
理学部	13	13	13	4,056	4,056	4,056	49,726	51,870	47,664	4,574	4,588	4,360	112.77	113.12	107.50
農学部	6	6	7	2,460	2,460	2,895	40,357	42,225	45,987	2,755	2,756	3,215	111.99	112.03	111.05
人文科学系	238	237	236	70,568	70,057	69,407	512,645	510,840	512,590	75,409	73,132	72,905	106.86	104.39	105.04
経済学部	93	94	94	41,275	40,343	39,868	293,774	301,231	312,763	42,435	41,104	42,264	102.81	101.89	106.01
経営学部	79	82	81	24,165	25,083	24,708	188,060	188,841	193,204	25,189	25,498	25,687	104.24	101.65	103.96

資料 8 は、名城大学における過去 5 年間の入学志願状況データであり、各学科において一定の志願倍率を維持していること及び入学定員を継続して充足していることを示しています。この志願者数及び入学者数の実績から、収容定員変更後も十分に定員の充足が見込めると考えています。

資料 8：名城大学における過去 5 年間の入学志願状況

学部名	学科名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
経営学部	経営学科	志願倍率	8.6 倍	5.3 倍	10.4 倍	7.8 倍	8.5 倍	8.1 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.4 倍	1.0 倍	1.2 倍	1.0 倍	1.1 倍
国際経営学科		志願倍率	4.2 倍	2.6 倍	4.6 倍	3.0 倍	5.7 倍	4.0 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.4 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.2 倍
経済学部	経済学科	志願倍率	7.6 倍	8.5 倍	7.7 倍	8.7 倍	9.0 倍	8.3 倍
		定員充足率	1.2 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍
理工学部	数学科	志願倍率	15.4 倍	11.9 倍	14.9 倍	15.5 倍	14.6 倍	14.4 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.0 倍	1.2 倍	1.1 倍
	情報工学科	志願倍率	14.7 倍	12.9 倍	16.9 倍	18.1 倍	20.0 倍	16.5 倍
		定員充足率	1.3 倍	1.1 倍				
	電気電子工学科	志願倍率	13.8 倍	11.2 倍	16.3 倍	17.4 倍	17.5 倍	15.2 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.0 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.0 倍	1.1 倍
	材料機能工学科	志願倍率	13.3 倍	12.8 倍	13.8 倍	18.4 倍	14.7 倍	14.6 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.1 倍	1.4 倍	0.9 倍	0.9 倍	1.1 倍
	応用化学科	志願倍率	-	-	31.7 倍	26.6 倍	28.4 倍	28.9 倍
		定員充足率	-	-	1.1 倍	0.9 倍	1.1 倍	1.0 倍
機械工学科	機械工学科	志願倍率	16.3 倍	13.7 倍	19.9 倍	21.1 倍	24.9 倍	19.2 倍
		定員充足率	1.2 倍	1.1 倍	1.0 倍	1.3 倍	1.2 倍	1.2 倍
	交通機械工学科	志願倍率	6.4 倍	7.2 倍	9.5 倍	13.6 倍	12.3 倍	9.8 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.0 倍	1.1 倍
	メカトロニクス	志願倍率	-	-	11.6 倍	13.0 倍	13.2 倍	12.6 倍
		定員充足率	-	-	1.4 倍	1.0 倍	1.1 倍	1.2 倍
	環境創造学科	志願倍率	6.8 倍	7.9 倍	5.6 倍	10.7 倍	10.4 倍	8.3 倍
		定員充足率	1.3 倍	1.0 倍	1.1 倍	1.0 倍	1.0 倍	1.1 倍
	建築学科	志願倍率	10.2 倍	9.5 倍	13.7 倍	14.8 倍	15.9 倍	12.8 倍
		定員充足率	1.2 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.2 倍
農学部	生物資源学科	志願倍率	13.2 倍	10.4 倍	11.5 倍	11.5 倍	11.7 倍	11.7 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍
	応用生物化学科	志願倍率	18.3 倍	17.6 倍	17.4 倍	18.8 倍	17.2 倍	17.9 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.0 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.1 倍
薬学部	生物環境科学科	志願倍率	11.0 倍	11.6 倍	10.2 倍	10.9 倍	11.1 倍	11.0 倍
		定員充足率	1.4 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.0 倍	1.1 倍	1.1 倍
	薬学科	志願倍率	8.5 倍	8.0 倍	9.0 倍	10.6 倍	11.0 倍	9.4 倍
		定員充足率	1.0 倍	1.0 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.1 倍	1.1 倍
都市情報学部	都市情報学科	志願倍率	4.1 倍	4.0 倍	3.4 倍	3.6 倍	7.4 倍	4.5 倍
人間学部	人間学科	志願倍率	7.7 倍	6.2 倍	6.4 倍	8.9 倍	6.0 倍	7.0 倍
		定員充足率	1.1 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.1 倍	1.2 倍	1.1 倍

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

1) 多様な入試方式の実施

本学の学部入学試験は、学力試験中心の「一般入試」、高校等の推薦による「推薦入試」、および英語資格取得・簿記会計取得者等を対象とした「特別入試」を実施し、受験生の持つ多様な個性を評価することに努めています。

また試験会場では、一般入試において本学キャンパス以外にも地区別試験会場を設定し、受験生の金銭的・時間的負担軽減を図っています。

2) 広報活動

・オープンキャンパス

本学では、本学を志望する高校生とその保護者、高校教員を主な対象として学部紹介等を行うオープンキャンパスを開催しています。本学への関心の高さを反映して、参加者は平成25年度11,371名、平成26年度12,225名、平成27年度14,445名とこの3年間で3,000名余り増加しています。

・Meijo Girl's Café

オープンキャンパスにおける特徴的な試みとして、平成26年度より、Meijo Girl's Caféを実施しています。これは、オープンキャンパスに来場する女子生徒等の進学希望者が、本学に通学する女子大学生と、進学上の不安や学生生活の醍醐味等を、柔らかい雰囲気の中で気軽に話してもらうことをコンセプトとした女子生徒限定の企画です。教職員から一方的にアピールするのではなく、実際に名城大学の在学生と話すことで、学生目線での大学生活のイメージを伝えることを重視しています。

平成27年度の本企画の来場者数は743名と大変好評であり、このような企画を通じて継続的に女子受験生を確保していくとともに、入学後の大学選択のミスマッチ低減につなげていければと考えています。

・進学懇談会

高等学校進路担当・3年生担任教員等を対象とし、本学の特色・近年の動き・入試関連情報を提供するとともに、質問・意見交換を行う進学懇談会を、平成27年度では中部地区中心に12会場で実施しました。参加校は平成26年度298校、平成27年度310校に上り、高等学校における本学への関心の高さを表すものと考えられます。

・高校訪問

本学入試広報担当職員が年2~3回、中部地区の高等学校進路指導部を中心に個別訪問し、教育研究内容に加えて、近年の入試状況及び就職動向に関する情報提供を通じて、高等学校と大学間の相互理解促進を図っています。

・高校生向け学内見学会

進路検討の一環として本学の見学会を希望する高等学校に対して、本学では出来る限りこれを受け入れ、学内見学会を行っています。平成25年度は76校、平成26年度62校、

平成 27 年度 65 校（平成 28 年 2 月末時点）の受け入れ実績があります。内容は、本学事務職員及び在学生がガイド役となり、来訪した高校生・教員・保護者等に対し、施設設備見学・学生生活に関する質疑応答を行っています。

・進学説明会・相談会

本学入試広報担当職員が進学希望者のいる高等学校等に出向き、大学進学の意義、大学での教育研究内容の紹介、学生生活等に関する説明・質疑応答を行う進学説明会・相談会を実施し、高校生の進学意欲醸成に向けて取り組んでいます。

・ホームページ等

受験生へのタイムリーな情報提供源として受験生専用ホームページを設け活用しています。掲載内容は、学部学科・学費・学生生活・入試内容案内等を中心としています。

・出前講義

本学では、本学における知的財産を地域社会に還元し、社会に貢献することを目的として、本学教職員を学校及び自治体等からの要請に基づき派遣し講義を行う「出前講義」を実施しています。平成 26 年度には 61 件、平成 27 年度には 84 件（平成 28 年 2 月末時点）実施しました。特に高校生にとっては、講義を通じて「学び」への関心が高まることにより、進学意欲の向上が期待できます。

3) 学生確保に向けた学内体制

本学での学生確保に向けた体制は以下の通りです。

入学センター：本学内に、本大学の求める学生を安定的に確保することを目的として、入学センター長をトップとする入試広報・入試実施・入試企画等を業務とする入学センターを設置しています。また、同センター運営の必要事項を審議する機関として「入学センター委員会」を設置しています。

入試戦略会議：入学志願者及び入学者確保のため、入試広報を含む学生募集に関する戦略を策定し入学センター委員会に提案することを目的とした「入試戦略会議」を学長の下に設置しています。

学部入試委員会：学部ごとに入試委員会を設置し、入試に関する学部単位での企画立案を担当しています。

2. 人材需要の動向等社会の要請

（1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

取容定員変更を行う学部・学科の人材養成目的及びその他教育研究上の目的は次のとおりです。

1) 経営学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
経営学部	経営学部は、国際感覚に富み、幅広い教養に支えられた経営諸科学の理論的・実践的能力を社会の多様な領域で発揮する人材の養成を目的とします。
経営学科	経営学科は、経営諸科学の理論的・実践的能力を社会の多様な領域で発揮する人

	材の養成を目的とします。
国際経営学科	国際経営学科は、国際的な経済・経営活動に欠かせない高度な専門知識、語学力、情報処理能力を兼ね備えた人材の養成を目的とします。

2) 経済学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
経済学部	経渌学部は、経済という一つの窓を通じて社会を見つめ、多様化・複雑化する社会に柔軟に対応できる自立的人間の養成を目的とします。
経済学科	経済学科は、理論・歴史・政策の研究過程を通じて、経済・社会を深く分析できる自立した人間を養成します。
産業社会学科	産業社会学科は、体験型・実践型の科目を豊富に含む経済学研究の過程を通じて、現代社会に活力を与えられる自立した人間を養成します。

3) 理工学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
理工学部	理工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する専門知識とその応用力を持ち、科学技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とします。
数学科	諸科学の基本的「言語」でもある数学に対する期待は、数理科学とコンピュータの急速な発達によって、現在では自然科学、工学だけでなく、社会科学や人文科学の世界にも大きくなりつつあります。このような社会からの要請にかなった卒業生を送り出すために、数学科では、まず数学を基礎からきちんと学ぶことを第一に考えています。さらに、柔軟で論理的な思考力や数学に対する直観力を養いながら、真に数学の魅力を知ることができる人材の養成を目的とします。
情報工学科	産業や社会の様々な分野で情報技術者として活躍できるように、情報数学、コンピュータ基礎、プログラミングなどの「情報処理技術の基礎」を習得し、かつ、自らが解決すべき課題を理解し、解決策を探索し、実践できる能力を身につけた人材を育成します。また、情報処理技術の応用分野は多岐にわたり、それぞれ求められる能力が異なるので、「情報通信」「情報システム」「情報処理」「情報メディア」の少なくとも1つの分野の専門知識を体系的に身につけた人材を育成します。 それぞれのプログラムは、次に示す能力を持つ人材を育成します。 ①情報通信プログラム：情報を交換する分野を扱う。伝送路を介して情報を高速に伝える方法や、ネットワークを介して情報を確実、かつ安全に交換する仕組みが理解できる。 ②情報システムプログラム：情報を利用する分野を扱う。情報を取得するためのハードウェアとそれを利用するためのソフトウェアについて、その両方の仕組みが理解できる。 ③情報処理プログラム：情報を処理する分野を扱う。基本ソフトウェアをはじめとするソフトウェアの原理や、情報管理、アルゴリズム、知識情報処理の方法

	<p>論が理解できる。</p> <p>④情報メディアプログラム：情報を表現する分野を扱う。画像・音・言語などのメディアから情報を抽出する仕組みや、それらを加工して利用する方法が理解できる。</p>
電気電子工学科	電気電子工学科では、「自然との共生、人類の発展と福祉への貢献を常に意識した、確固とした基礎学力、電気電子工学分野の専門知識とその応用・問題解決能力を有する技術者を育成することを目的とする。」との教育理念の下、基礎教育を重視しつつ、特に電気エネルギー、電気電子材料等関連分野と通信、計測・制御、情報処理等関連分野に貢献できる人材の育成を目的とします。
材料機能工学科	材料機能工学科では、さまざまな分野で要求される新材料の開発、および応用、製造に携わることができる科学者・技術者として、広い視野と倫理をもち、材料の構造・性質・プロセスに関する基本を理解し、材料の機能を活かした設計・利用に関する能力を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目的とします。
応用化学科	応用化学科は、化学反応や分子の構造変化から成り立っている諸現象を化学的センスに基づいて理解した上で、新しい物質の設計・合成を行い、その特性を評価することにより環境に与える影響を分析・解明し、豊かな生活を持続可能にする付加価値の高い物質の開発ができる創造性豊かな人材の育成を目的とします。
機械工学科	機械工学科では、困難に打ち勝てる知的体力を持ち、わが国が競争優位にある、ものづくりに代表される科学技術応用力をさらに洗練させ、環境保全、エネルギー有効利用、高度情報化の新しい波に適合した技術を創造する能力を持ち、社会に貢献できる機械技術者の育成を目的とします。
交通機械工学科	交通機械工学科は、自動車、航空機および鉄道車両などの「交通機械」に軸足を置きながら、時代の要求に呼応すべく「知的ものづくり」を目標に、ハード面のみでなく、ソフト面も重視した視野の広い教育・研究を目指します。最近では、高度な技術を用いてより高性能な交通機械を作ればよいというだけでなく、安全性・再利用を含めた環境や福祉などを十分に考慮した「ものづくり」が急務となっています。特に「交通機械」は、人命に大きく関わっているので、交通機械工学科は、機械一般の基礎知識を教育するだけではなく、創造力と人間性豊かなエンジニアの養成を目的とします。
メカトロニクス工学科	<p>メカトロニクス工学科育成の技術者像は以下のとおりです。</p> <p>①技術者として自立した倫理観と社会適応性を有し、物事を客観的に議論できる能力を有する技術者。</p> <p>②メカトロニクス領域における自分の専門分野を限定せず、問題解決のための思考力と行動力を有する技術者。</p> <p>③電子機器および機械装置の構成とそのシステム機能を俯瞰的に理解でき、システム構成機器設計の基礎能力を有する技術者（達成される広義の人材像）。</p> <p>④電子機器・機械装置の動力伝達機器やそのシステム、医療機械等の生体に係わる機器のいずれかに対し、その必要機能の構築とその機能モデリング、評価が可能な技術者（直接の教育で焦点化する人材像）。</p> <p>⑤電気・機械、生体工学に関する基礎知識を有し、その応用能力を有する技術者。</p>

社会基盤デザイン工学科	人間社会は、自然の猛威にさらされる一方、自然からさまざまな恩恵を受けて育まれてきました。特にわが国では、厳しくも豊かな自然環境を受容しつつ、安全で快適かつ持続的な社会を実現するために、社会基盤施設の整備と国土保全を図ることが求められています。社会基盤デザイン工学科は、環境や景観に配慮しつつ、防災上の観点にも立って地域社会を構想し、豊かな社会を支える基盤施設を構築できる、中核的な土木技術者の養成を目的とします。
環境創造学科	環境創造学科では、本学科の考える環境創造学のコンセプト（環境の心、自然の論理性の把握、環境の保全と復元・改善、自然との共生、環境創造）に基づいて教育を行い、環境に携わる技術者・研究者の養成を目的とします。
建築学科	建築学科では、社会情勢の変化や技術の進歩に対応できる柔軟な思考能力および判断力を有し、建築分野が担うべき社会的役割に貢献しうる人材の育成を目指しています。目的とする人材像は、広い視野で総合的に事象を見分ける目を持ち、知識や技術に偏ることなく、自ら文化や芸術にも造詣を深め、工学性と芸術性を併せ持つ優れた生活環境や文化的環境の創造に貢献できる技術者や建築家です。

4) 農学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
農学部	農学部は、生命科学、食料・健康科学、環境科学を基盤とした幅広い専門的学識を有し、洞察力、創造力および実践力を備え、社会に貢献できる人材の養成を目的とします。
生物資源学科	生物資源学科は、多様な生物資源の有効利用と安定的な生物生産のために、基盤となる理論や技術を科学的に追究しており、農産物の開発、生産および流通や、人間の命を支える食に関連する産業分野で活躍、あるいは国際貢献できる人材の養成を目的とします。
応用生物化学科	応用生物化学科は、生命現象、食品機能、および生物機能について、主に化学を基礎として追究しており、バイオ関連産業、食品・医薬品産業、化粧品産業等の分野で国内はもとより海外でも広く活躍できる人材の養成を目的とします。
生物環境科学科	生物環境科学科は、生物と人と自然との調和がとれた環境の創出について、主に生物学および化学を基礎として追究しており、環境行政や緑化産業および環境関連産業等の分野で活躍あるいは国際貢献できる人材の養成を目的とします。

5) 薬学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
薬学部	薬学部は、薬学の確かな知識、技能とともに生命の尊さを知り豊かな人間性と倫理観をもち、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材の養成を目的とします。

6) 都市情報学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
都市情報学部	都市情報学部は、サービスサイエンスの観点から、都市に関する総合的知識とバランス感覚を併せ持ち、まちづくりや組織経営に関するさまざまな課題を分析

	し、解決する人材の養成を目的とします。
--	---------------------

7) 人間学部

学部・学科	人材養成目的及びその他教育研究上の目的
人間学部	人間学部は、人間性への洞察を中核にすえた広い視野と深い教養を持ち、豊かな人間性に裏打ちされ、国際的な舞台でも活躍できるコミュニケーション能力と行動力を備えた人材の養成を目的とします。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 本学の過去 5 年間の求人社数推移

本学における過去 5 年間の求人社数の実績は、平成 22 年度は就職希望者数 2,529 名に対して 7,572 社、平成 23 年度は就職希望者数 2,580 名に対して 8,694 社、平成 24 年度は就職希望者数 2,579 名に対して 9,921 社、平成 25 年度は就職希望者数 2,620 名に対して 10,900 社、平成 26 年度は就職希望者数 2,792 名に対して 11,923 社、平成 27 年度は就職希望者数 2,728 名に対して 14,030 社（平成 28 年 3 月 22 日時点）となっています。即戦力となる少数精銳の人材が求められている中、企業から本学への求人社数は顕著に増加しています。

この求人社数の増加については、労働市場の活性化といった外的要因のみならず、本学が力を入れて取り組んできたキャリア教育が奏功していること、および東海エリアの産業界において本学卒業生が堅固な地位を確立していることが要因としてあげられます。

以上のことから、収容定員を増加した後も、学生に豊富な選択肢を提供することができるものと考えています。

2) 本学の就職状況

本学学生の就職率（※1）は、全国平均（※2）と比べ、例年、高い水準を維持しています。平成 22 年度卒業生は就職率 99.1%（全国平均 91.0%）、実就職率は 83.1%、平成 23 年度卒業生は就職率 99.0%（全国平均 93.6%）、実就職率は 85.2%、平成 24 年度卒業生は就職率 99.2%（全国平均 93.9%）、実就職率は 87.0%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.5%（全国平均 94.4%）、実就職率は 89.2%、平成 26 年度卒業生は就職率 98.7%（全国平均 96.7%）、実就職率は 92.4% となっています（資料 9、資料 10 P.8）。平成 22 年度卒業生から平成 26 年度卒業生までの実就職率は、全国私立大学 1 位を 5 年連続で獲得しています（※3）。

収容定員変更を予定している学部学科についても、次に記載するとおり高い就職率を維持していることから、今後も卒業後の就職先は十分に確保していくものと考えています。

※1 就職率：就職者／就職希望者、実就職率：就職者／（卒業者－大学院進学者）

※2 全国平均：国公私立大学の就職率の全国平均（文部科学省発表（平成 27 年 4 月 1 日現在））

（全国平均は就職率のみ掲載）

※3 サンデー毎日 卒業生 2,000 人以上の大学実就職率（大学院含まない）

以下に定員の増加を予定している学部・学科の就職状況について記載します。

①経営学部

(1) 経営学科

経営学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 99.5%（全国平均 91.0%）、実就職率は 84.3%、平成 23 年度卒業生は就職率 98.6%（全国平均 93.6%）、実就職率は 85.5%、平成 24 年度卒業生は就職率 99.0%（全国平均 93.9%）、実就職率は 88.3%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.4%（全国平均 94.4%）、実就職率は 90.4%、平成 26 年度卒業生は就職率 96.4%（全国平均 96.7%）、実就職率は 91.2% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(2) 国際経営学科

国際経営学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 86.0%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.6%）、実就職率は 84.3%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 85.7%、平成 25 年度卒業生は就職率 94.7%（全国平均 94.4%）、実就職率は 80.9%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 88.0% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

②経済学部

(1) 経済学科

経済学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 98.9%（全国平均 91.0%）、実就職率は 85.8%、平成 23 年度卒業生は就職率 99.5%（全国平均 93.6%）、実就職率は 82.6%、平成 24 年度卒業生は就職率 99.4%（全国平均 93.9%）、実就職率は 88.6%、平成 25 年度卒業生は就職率 97.7%（全国平均 94.4%）、実就職率は 85.4%、平成 26 年度卒業生は就職率 95.9%（全国平均 96.7%）、実就職率は 89.0% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

③理学部

(1) 数学科

数学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 86.2%、平成 23 年度卒業生は就職率 96.8%（全国平均 93.6%）、実就職率は 84.5%、平成 24 年度卒業生は就職率 96.3%（全国平均 93.9%）、実就職率は 85.6%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.6%（全国平均 94.4%）、実就職率は 84.0%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 95.3% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(2) 情報工学科

情報工学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 99.1%（全国平均 91.0%）、実就職率は 80.1%、平成 23 年度卒業生は就職率 97.8%（全国平均 93.6%）、実就職率は 84.8%、平成 24 年度卒業生は就職率 97.6%（全国平均 93.9%）、

実就職率は 82.7%、平成 25 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 94.4%）、実就職率は 95.7%、平成 26 年度卒業生は就職率 99.3%（全国平均 96.7%）、実就職率は 95.1% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(3) 電気電子工学科

電気電子工学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 97.6%（全国平均 91.0%）、実就職率は 89.6%、平成 23 年度卒業生は就職率 99.2%（全国平均 93.6%）、実就職率は 91.1%、平成 24 年度卒業生は就職率 99.2%（全国平均 93.9%）、実就職率は 93.7%、平成 25 年度卒業生は就職率 99.1%（全国平均 94.4%）、実就職率は 90.5%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 98.2% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(4) 材料機能工学科

材料機能工学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 82.3%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.6%）、実就職率は 93.5%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 94.4%、平成 25 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 94.4%）、実就職率は 98.0%、平成 26 年度卒業生は就職率 98.4%（全国平均 96.7%）、実就職率は 96.8% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(5) 応用化学科

応用化学科は平成 28 年度が完成年度となるため、就職者に関するデータはありませんが、本学の所在地である中部地区には、化学系の業種（化学原料・繊維、プラスチック成形、合成ゴム・タイヤ・接着剤、石油化学、工業薬品・洗剤、セラミック・窯業・環境エネルギー・触媒、食品・医薬品・化粧品など）に分類される企業が多く所在し、特に愛知県については、全国的にみて化学系関連企業の比率が高いこと、また、応用化学科の基礎となっている材料機能工学科の就職率が高い水準で推移していることから、応用化学科の卒業生についても高い就職率となることが期待できます。

(6) 機械工学科

機械工学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 94.0%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.6%）、実就職率は 95.1%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 91.2%、平成 25 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 94.4%）、実就職率は 92.9%、平成 26 年度卒業生は就職率 99.2%（全国平均 96.7%）、実就職率は 95.5% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(7) 交通機械工学科

交通機械工学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 99.2%（全国平均 91.0%）、実就職率は 91.8%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%

(全国平均 93.6%)、実就職率は 92.7%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 99.1%、平成 25 年度卒業生は就職率 97.3%（全国平均 94.4%）、実就職率は 95.5%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 96.6% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(8) メカトロニクス工学科

メカトロニクス工学科は平成 28 年度が完成年度となるため、就職者に関するデータはありませんが、就職に関する見通しとして、まず社会的な需要では、経済産業省の委託を受けた日本機械学会による必要人材調査等において、中小～大企業の全般でメカトロニクス技術者の必要性が示されています。特に、製造業の約 20% が基幹技術としてメカトロニクスをあげており、その比率に相当する機械系技術者が、メカトロニクス分野に就職していると推測されます。また、メカトロニクス工学科の基礎となっている既設 3 学科（電気電子工学科、機械システム工学科、交通機械工学科）の就職率も高い水準で推移していることから、メカトロニクス工学科の卒業生についても高い就職率となることが期待できます。

(9) 環境創造学科

環境創造学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 90.1%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.6%）、実就職率は 87.7%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 89.6%、平成 25 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 94.4%）、実就職率は 97.4%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 95.4% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(10) 建築学科

建築学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 91.0%）、実就職率は 86.9%、平成 23 年度卒業生は就職率 98.1%（全国平均 93.6%）、実就職率は 89.0%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 91.8%、平成 25 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 94.4%）、実就職率は 96.7%、平成 26 年度卒業生は就職率 99.3%（全国平均 96.7%）、実就職率は 95.0% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

④農学部

(1) 生物資源学科

生物資源学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 99.0%（全国平均 91.0%）、実就職率は 89.8%、平成 23 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.6%）、実就職率は 88.9%、平成 24 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 93.9%）、実就職率は 85.9%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.1%（全国平均 94.4%）、実就職率は 87.9%、平成 26 年度卒業生は就職率 100%（全国平均 96.7%）、実就職率は 97.8% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(2) 応用生物化学科

応用生物化学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 97.6% (全国平均 91.0%)、実就職率は 91.1%、平成 23 年度卒業生は就職率 97.7% (全国平均 93.6%)、実就職率は 80.8%、平成 24 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 93.9%)、実就職率は 90.3%、平成 25 年度卒業生は就職率 96.4% (全国平均 94.4%)、実就職率は 86.0%、平成 26 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 96.7%)、実就職率は 95.3% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

(3) 生物環境科学科

生物環境科学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 91.0%)、実就職率は 80.2%、平成 23 年度卒業生は就職率 97.6% (全国平均 93.6%)、実就職率は 82.2%、平成 24 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 93.9%)、実就職率は 86.7%、平成 25 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 94.4%)、実就職率は 83.8%、平成 26 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 96.7%)、実就職率は 88.0% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

⑤薬学部

(1) 薬学科

薬学科における過去 4 年間の就職率及び実就職率は、平成 23 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 93.6%)、実就職率は 98.5%、平成 24 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 93.9%)、実就職率は 97.1%、平成 25 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 94.4%)、実就職率は 98.6%、平成 26 年度卒業生は就職率 100% (全国平均 96.7%)、実就職率は 99.6% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

⑥都市情報学部

(1) 都市情報学科

都市情報学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 98.2% (全国平均 91.0%)、実就職率は 76.2%、平成 23 年度卒業生は就職率 97.5% (全国平均 93.6%)、実就職率は 78.3%、平成 24 年度卒業生は就職率 97.9% (全国平均 93.9%)、実就職率は 81.0%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.7% (全国平均 94.4%)、実就職率は 85.9%、平成 26 年度卒業生は就職率 99.4% (全国平均 96.7%)、実就職率は 90.6% となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

⑦人間学部

(1) 人間学科

人間学科における過去 5 年間の就職率及び実就職率は、平成 22 年度卒業生は就職率 98.2% (全国平均 91.0%)、実就職率は 77.3%、平成 23 年度卒業生は就職率 99.4% (全国平均 93.6%)、実就職率は 85.9%、平成 24 年度卒業生は就職率 99.5% (全国平均 93.9%)、実就職率は 85.2%、平成 25 年度卒業生は就職率 98.0% (全国平均 94.4%)、実就職率は

90.6%、平成 26 年度卒業生は就職率 97.3%（全国平均 96.7%）、実就職率は 89.6%となっており、全国平均と比較しても高い水準で就職率を維持しています。

3) 理工系女子学生のサポート

本学では、オープンキャンパスにあわせて、入学前の女子高校生に対して、「女子高生のための理工系キャリアアップセミナー」を実施しています。本セミナーでは、相談内容を就職や大学院進学に限定せず、講義や研究、学生生活も含めて、入学から卒業までの学生生活の過ごし方をイメージしてもらうことで、総合的に自らのキャリアを考えてももらう機会を提供しています。（平成 27 年度来場者：204 名）

また、内閣府男女共同参画局「理工チャレンジ」の応援団体として、女子高校生や女子学生の理工系分野への進学や就職などの進路選択を応援しています。在校生を対象とした「女子学生のための理工系キャリアアップセミナー」では、就職に不安を抱える女子学生のサポートを目的として、企業や学校教員として活躍する卒業生女子を講師とする講演会および交流会を実施しています。（平成 27 年度参加者：22 名）

このように本学では、ものづくりの集積地である東海エリアの受験者に理工系の強みを紹介するとともに、キャリアサポート体制を充実させることで、増加する女子学生に対するケアを心がけています。

4) 企業と学生のマッチングのための施策展開

本学では、毎年、学内企業研究セミナーを実施しています。その特徴は、参加企業のバリエーションや参加企業数の豊富さにあります。平成 28 年 3 月卒業生を対象としたセミナー計 3 回の参加企業数は、延べ合計 832 社であり、これは東海エリア最大級の規模であるといえます。

また、本学の特徴的な試みとして、企業との就職情報交換会があげられます。これは、本学学生の採用実績のある企業の採用担当者を招いて毎年行っているものであり、企業が求める人材像や大学への要望事項などを常に確認し続けることによって、学生と企業のミスマッチを防ぎ、人材育成に対する産業界と大学の意識のズレを補正することを目的としています。

本学の学生の就職市場における強みを分析する試みとして、本学では、企業へのアンケートを実施しています。調査項目のうち「本学学生の優れている点」として、多くの企業が「コミュニケーション能力」を挙げています。これは、同アンケートにおける「企業が選考において重視する事項」とも一致しており、本学が人材養成目的その他教育研究上の目的に沿って育成した学生と企業の求めている人材像の一致を示唆するものです（資料 11）。

このように本学では、学内企業研究セミナーにおける学生への機会提供に加え、就職情報交換会や企業アンケートによって、社会の求める人材需要を柔軟に取り入れるための仕組みを整備しています。

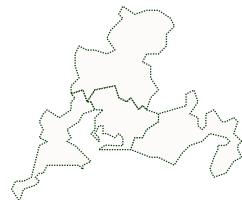
以上のとおり、求人社が毎年増加傾向にあることや、全国的にも高い水準を維持した就職状況であること、また、企業の求める人材像を適宜確認できる仕組みを整えていることから、収容定員を変更した後も、社会からの人材需要に十分応えることができると考えています。

以 上

資料目次

- 【資料 1】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
18歳人口予測、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向（東海版）2015年
- 【資料 2】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
18歳人口予測、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向 2015 年
- 【資料 3】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ「進学ブランド力調査 2014」
(プレスリリース資料)
- 【資料 4】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ「進学ブランド力調査 2015」
(プレスリリース資料)
- 【資料 5】株式会社リクルートマーケティングパートナーズ「進学ブランド力調査 2015」
(『高校生に聞いた大学ブランドランキング 2015』イメージ項目ランキング)
- 【資料 6】日本私立学校振興・共済事業団
平成 26（2014）年度私立大学・短期大学等入学志願動向
- 【資料 7】日本私立学校振興・共済事業団
平成 27（2015）年度私立大学・短期大学等入学志願動向
- 【資料 8】名城大学における過去 5 年間の入学志願状況
- 【資料 9】名城大学学部生における過去 5 年間の就職実績
- 【資料 10】平成 26 年度大学等卒業者の就職状況調査（平成 27 年 4 月 1 日現在）
- 【資料 11】平成 27 年度 企業との就職情報交換会アンケート結果について

18歳人口予測 大学・短大・専門学校進学率 地元残留率の動向 東海版



【将来予測 2015~2026年】

▶18歳人口予測 P2~P4

- ・2015年147082人→2026年135996人(11086人減少)。
- ・減少率が高いのは、三重県(2015年比88.5)。
- ・減少数が多いのは、愛知県(72998人→69449人、3549人減少)。

【経過推移 2005~2014年】

▶進学者数・進学率・残留率(現役)の推移 P5~P8

進学者数

- ・大学は、2005年61279人→2014年63790人(2511人増加)。
- ・短大は、2005年10805人→2014年7034人(3771人減少)と、34.9%減少。
- ・専門学校は、2005年23533人→2014年18612人(4921人減少)と、20.9%減少。

進学率

- ・大学は、2005年43.7%→2014年50.1%(6.4ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年7.7%→2014年5.5%(2.2ポイント低下)。
- ・専門学校は、2005年16.8%→2014年14.6%(2.2ポイント低下)。

残留率

- ・大学は、2005年45.3%→2014年48.0%(2.7ポイント上昇)。
- ・短大は、2005年67.9%→2014年75.6%(7.7ポイント上昇)。

▶東海エリア概要(県別) P9~P10

※分析にあたって

- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーーター + 就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。
- ④ 進学率とは、高等学校卒業者数(全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程)÷進学者数(大学・短大・専修学校専門課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、高等学校卒業者数(全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程)÷自県内の進学者数(大学・短大)で算出した。
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間が一致しない場合がある。

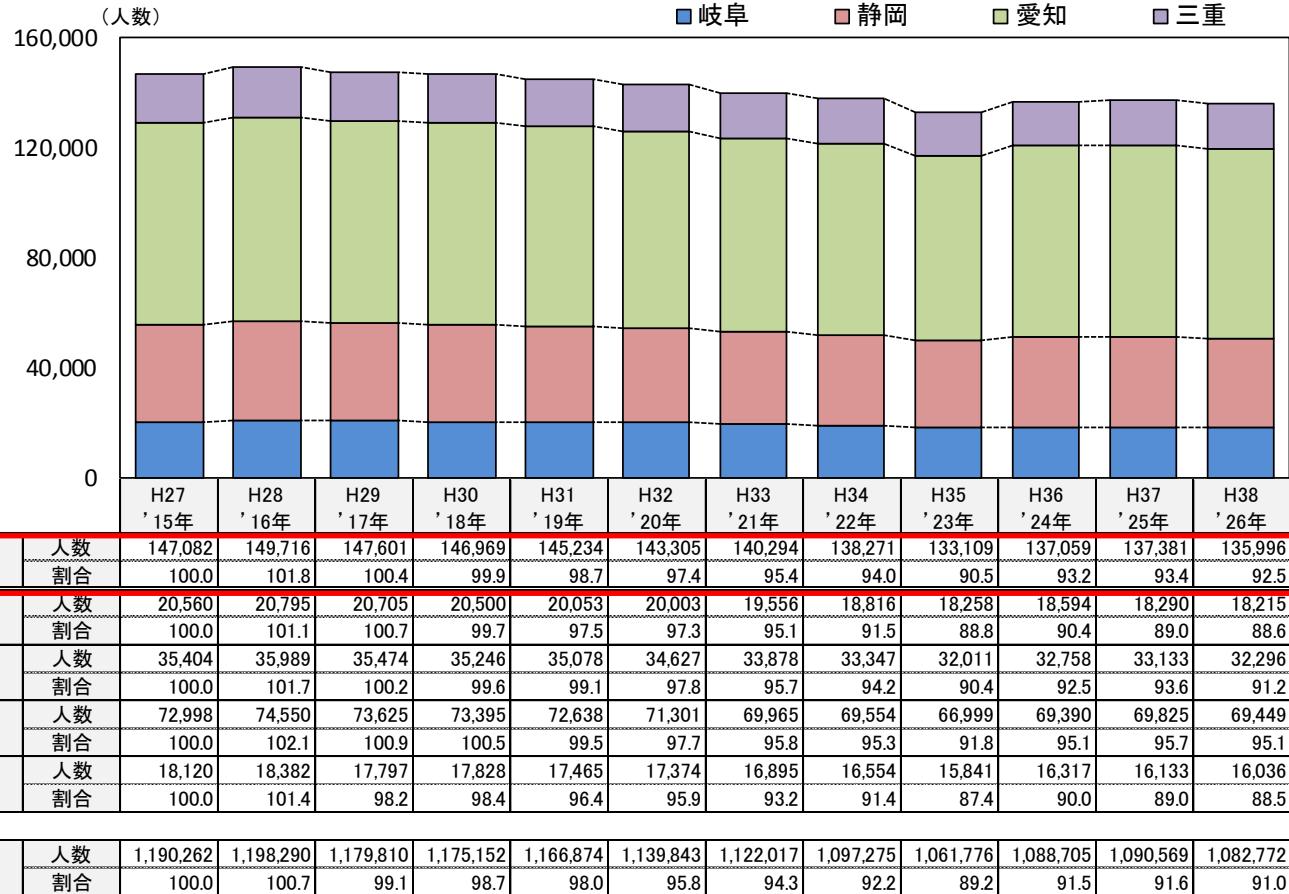
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研
<http://souken.shingakunet.com/>

18歳人口予測(全体：東海：2015～2026年)

■2015年147082人→2026年135996人(11086人減少)

- ・東海エリアは12年間で11086人・7.5%減少し、全国の減少率9.0%を下回る。
- ・2023年に133109人まで減少するのが12年間では底となり、翌年3950人増加する。
- ・減少率が高いのは、三重県(2015年比88.5)。
- ・減少数が多いのは、愛知県(72998人→69449人、3549人減少)。



① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。

- ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
- ・ 中学校卒業者数 = 高校生 + フリーター + 就職者 すべて含む

② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。

③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。

18歳人口予測 大学・短大・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2015~2026年】

▶18歳人口予測 P3~P8

- ・2015年119万人→2026年108.3万人(10.7万人減少)
- ・特に2019~2023年の5年間で10.5万人と大きく減少
- ・減少率が高いのは東北(2015年比81.5%)、減少数が大きいのは近畿(21625人減)

【経過推移 2005~2014年 (地元残留率は2006~2015年)】

▶進学率(現役・過年度)の推移 P9~P13

大学進学率(現役)

- ・2005年39.3%→2014年48.1%(8.8ポイント上昇)
- ・上昇率が高いのは、1位東北(126.8)、2位南関東(126.3)、3位甲信越(122.9)※
- ・進学率が高いのは南関東、近畿、東海の三大都市圏

短大進学率(現役)

- ・2005年7.5%→2014年5.1%(2.4ポイント低下)
- ・低下率が高いのは、1位南関東(62.4)、2位近畿(64.1)、3位北関東(64.7)※
- ・進学率が高いのは、北陸、甲信越、近畿、四国

専門学校進学率(現役)

- ・2005年19.0%→2014年17.0%(2.0ポイント低下)
- ・ただし最も低下したのは2009年14.7%で、そこから徐々に回復
- ・低下率が高いのは、1位南関東・東海(87.1)、3位東北(88.6)※
- ・進学率が高いのは、北海道、甲信越、四国

都道府県別進学率(現役・2014年)

- ・大学進学率1位は東京、短大進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学・短大・専門学校進学率(現役・過年度比較)

- ・現役と過年度の進学率の差は、大学は3.4ポイント(過年度が高い)、短大は差なし、専門学校は5.4ポイント(過年度が高い)

▶地元残留率の推移 P14~P24

- ・大学進学者の地元残留率は、2006年41.8%→2015年43.6%(1.8ポイント上昇)
- ・短大進学者の地元残留率は、2006年64.4%→2015年69.0%(4.6ポイント上昇)
- ・2015年の大学残留率1位は愛知(72.0%)、短大残留率1位は福岡(92.1%)

注) ※の()内の数値は、2005年を100としたときの2014年の指標

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研
<http://souken.shingakunet.com/>

データについて

■分析にあたって

- ① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口=3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業者数=高校生+フリーター+就職者 すべて含む
- ② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の4月現在の高校3年生(その年度に卒業を迎える高校3年生)を指す。
- ③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。
- ④ 進学率とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内の進学者数(大学・短大)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間が一致しない場合がある。
- ⑧ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下通り。

北海道: 北海道

東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

北関東: 茨城、栃木、群馬

南関東: 埼玉、千葉、東京、神奈川

甲信越: 新潟、山梨、長野

北陸: 富山、石川、福井

東海: 岐阜、静岡、愛知、三重

近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国: 鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国: 徳島、香川、愛媛、高知

九州沖縄: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

<年度早見表>

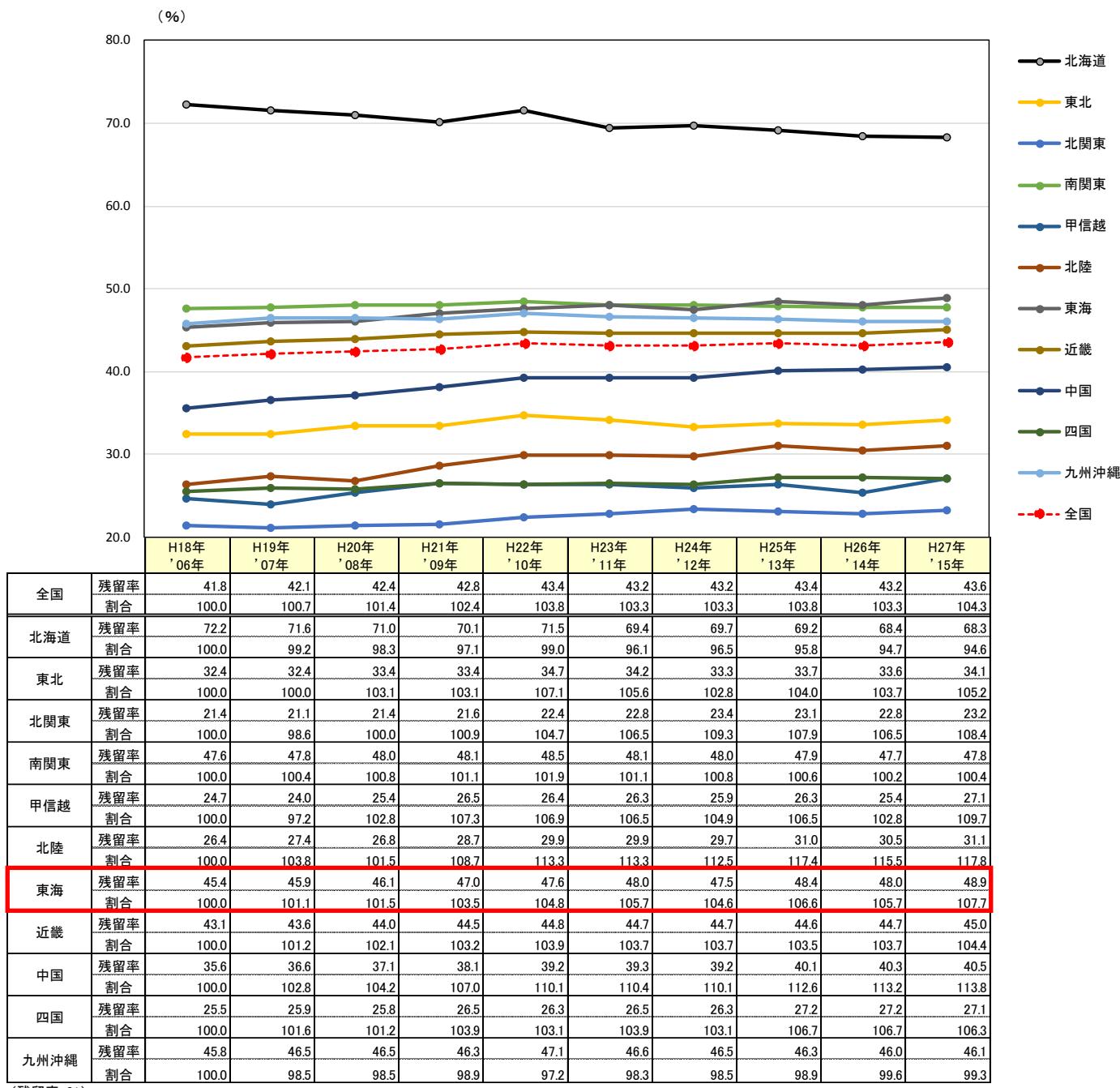
学校基本調査		公表年度	18歳人口	3年前の中学校・中等教育卒業者
確報	公表	23	1,201,934	H20年(2008年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	24	1,191,210	H21年(2009年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	25	1,231,117	H22年(2010年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	26	1,180,838	H23年(2011年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	公表	27	1,199,977	H24年(2012年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	予測	28	1,190,262	H25年(2013年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	予測	29	1,198,290	H26年(2014年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
速報	予測	30	1,179,810	H27年(2015年) の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者 (全国計のみ)
速報	予測	31	1,175,152	H27年(2015年) の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生の児童数
速報	予測	32	1,166,874	H27年(2015年) の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生の児童数
速報	予測	33	1,139,843	H27年(2015年) の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生の児童数
速報	予測	34	1,122,017	H27年(2015年) の小学校6年生児童数
速報	予測	35	1,097,275	H27年(2015年) の小学校5年生児童数
速報	予測	36	1,061,776	H27年(2015年) の小学校4年生児童数
速報	予測	37	1,088,705	H27年(2015年) の小学校3年生児童数
速報	予測	38	1,090,569	H27年(2015年) の小学校2年生児童数
速報	予測	39	1,082,772	H27年(2015年) の小学校1年生児童数

地元残留率の推移(全体:大学進学者:エリア別:2006~2015年)

■2006年41.8%→2015年43.6%(1.8ポイント上昇)

- 全国で2006年41.8%→2015年43.6%と1.8ポイント上昇。北海道以外の全エリアで上昇した。
- 上昇率が高いのは、1位北陸(117.8)、2位中国(113.8)、3位甲信越(109.7)。※
- 残留率が高いのは、1位北海道(2015年68.3%)、2位東海(48.9%)、3位南関東(47.8%)。
- 北海道は2006年で72.2%という高い残留率だったが、2015年で68.3%と3.9ポイント低下。ただし数値としては抜きんでて高く、2位の東海(48.9%)に20ポイント近い差をつけており、全体平均を引き上げている。

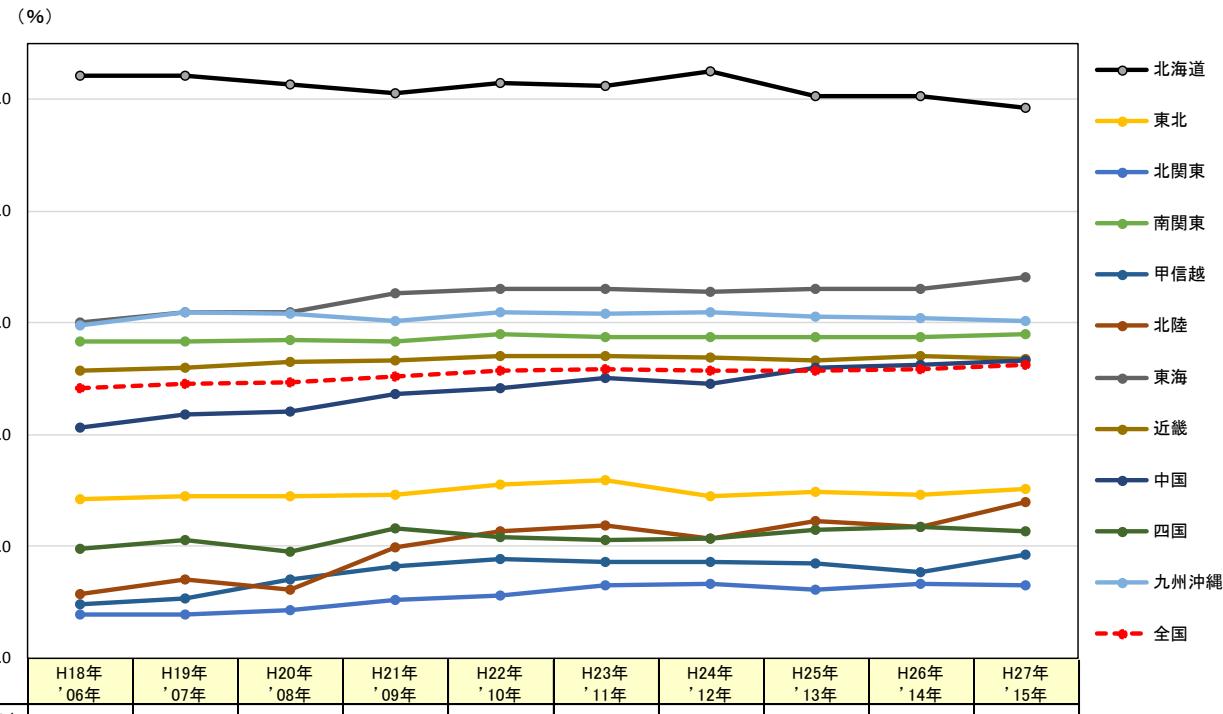
注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指数



地元残留率の推移(女子:大学進学者:エリア別:2006~2015年)

■2006年44.1%→2015年46.2%(2.1ポイント上昇)

- 全国で2006年44.1%→2015年46.2%と2.1ポイント上昇。
 - 上昇率が高いのは、1位北陸(132.4)、2位甲信越(117.7)、3位中国(115.0)。※
 - 10年間で低下したのは北海道(72.2%→69.3%)のみ。
 - 残留率が高いのは、1位北海道(2015年69.3%)、2位東海(54.1%)、3位九州沖縄(50.2%)。
- 注) ※の()内の数値は、2006年を100としたときの2015年の指標



年	割合									
	H18年 '06年	H19年 '07年	H20年 '08年	H21年 '09年	H22年 '10年	H23年 '11年	H24年 '12年	H25年 '13年	H26年 '14年	H27年 '15年
全国	44.1	44.5	44.7	45.2	45.7	45.9	45.7	45.8	45.9	46.2
北海道	100.0	100.9	101.3	102.5	103.6	104.1	103.6	103.8	104.1	104.7
東北	100.0	100.0	98.9	97.8	99.1	98.7	100.5	97.4	97.4	96.0
北関東	100.0	100.9	100.9	101.2	104.1	105.0	100.9	102.1	101.2	102.7
南関東	100.0	100.0	100.4	100.2	101.4	101.0	100.8	101.0	100.8	101.4
甲信越	100.0	101.7	108.9	113.3	116.1	114.9	114.9	114.5	111.3	117.7
北陸	100.0	105.1	101.6	116.4	121.9	124.2	119.6	125.8	123.8	132.4
東海	100.0	101.6	101.8	105.0	105.8	105.8	105.4	105.8	106.0	108.0
近畿	100.0	100.5	101.6	102.0	102.9	102.9	102.5	101.8	102.7	102.3
中国	100.0	102.9	103.7	107.3	108.8	111.0	109.8	113.3	114.0	115.0
四国	100.0	102.6	98.9	105.9	103.2	102.6	102.9	105.6	106.3	105.3
九州沖縄	100.0	102.2	102.0	100.8	102.4	102.0	102.2	101.6	101.2	100.8

(残留率:%)

2014年7月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

関東エリアの高校生の「志願したい大学」

資料3

明治大学が6年連続で1位

～関東・東海・関西エリアともに私立志向が高まる～
 ー高校生に聞いた 大学ブランドランキング「進学ブランド力調査2014」よりー

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 富塚 優）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、高校生の大学選びの動向を明らかにするため、2008年より進学ブランド力調査を実施しております。このたび2014年の調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。

関東・東海・関西エリアの『志願したい大学ランキング』…P3～P8

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
全体	明治大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年2位)	関西大学 (昨年1位)

- ・関東エリアでは6年連続「明治大学」、関西エリアでは7年連続「関西大学」がそれぞれ志願度トップ。東海エリアでは「名城大学」が昨年2位から6年ぶりにトップに立った。

【男女・文理別】

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
男子1位	明治大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)
女子1位	明治大学 (昨年1位)	南山大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)
文系1位	明治大学 (昨年1位)	中京大学 (昨年3位)	関西大学 (昨年1位)
理系1位	明治大学 (昨年1位)	名古屋大学 (昨年1位)	神戸大学 (昨年2位)

- ・関東エリアでは、「明治大学」が男子/女子/文系/理系全てで1位（2年連続）となった。
- ・東海エリアでは、文系で「中京大学」が昨年3位から1位に順位を上げた。
- ・関西エリアでは、理系で、「神戸大学」が昨年2位から1位に順位を上げた。

関東・東海・関西エリアの『知っている大学ランキング』…P9

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
全体1位	早稲田大学 (昨年1位)	中京大学 (昨年4位)	名古屋大学 (昨年1位)
			関西大学 (昨年3位)

関東・東海・関西エリアの『大学のイメージランキング』…P10～P11

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
「就職に有利である」	東京大学 (昨年2位)	東京大学 (昨年2位)	京都大学 (昨年1位)
「国際的なセンスが身につく」	上智大学 (昨年4位)	東京大学 (昨年3位)	関西外国語大学 (昨年1位)
「おしゃれな」	青山学院大学 (昨年1位)	慶應義塾大学 (昨年3位)	関西学院大学 (昨年1位)

参考【国公立・私立志向】関東・東海・関西エリアともに私立志向が高まる（→P12 国公立・私立志向の動向）

- ・2013年からの変化で見ると、関東と東海は国公立志向が減少、私立志向が増加。
- 関西では、両方とも増加しているが、私立志向の増加率の方が高い。（「まだわからない」が減少）

※出版・印刷物へデータを転載する際には、「進学ブランド力調査2014」リクルート進学総研調べと明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 広報担当
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

◇ 「名城大学」が昨年2位から順位を上げ1位に

- 1位は「名城大学」。昨年2位から順位を上げ1位に。
2位は昨年1位の「名古屋大学」、3位は「中京大学」が昨年4位から順位を上げた。

- 男女別では、男子で「中京大学」が昨年4位から2位へ、
女子で「愛知県立大学」が昨年4位から2位へ順位を上げた。

- 文理別では、文系で「中京大学」が昨年3位から1位へ順位を上げた。

【国公立大学】ランクインしている校数は昨年同様9校で、3エリア中最多。

- ランクイン校数は男子11校に対し女子8校、文系7校に対し理系13校。
女子に比べて男子、文系に比べて理系がランクイン校が多い。

【エリア外の大学】ランクインしている校数は0校。（昨年は1校「明治大学」）

【順位を上げた大学（5ランク以上）】

- | | |
|-----|--|
| 男女別 | ・男子は「京都大学」（24位→19位） |
| | ・女子は「岐阜大学」（10位→5位）「三重大学」（15位→7位） |
| 文理別 | ・文系は「岐阜大学」（20位→15位） |
| | ・理系は「愛知教育大学」（18位→9位）「京都大学」（22位→13位）「千葉大学」（33位→17位）
「浜松医科大学」（22位→17位）「鈴鹿医療科学大学」（33位→19位） |

志願度(東海エリア)

全体				性別						文理別					
順位	学校名	区分	志願度 (%)	男子			女子			文系			理系		
				順位	学校名	区分	志願度 (%)	順位	学校名	区分	志願度 (%)	順位	学校名	区分	志願度 (%)
1 (2)	名城大学	私	9.6	1 (1)	名城大学	私	13.2	1 (1)	南山大学	私	9.0	1 (3)	中京大学	私	12.7
2 (1)	名古屋大学	国	9.5	2 (4)	中京大学	私	11.1	2 (4)	愛知県立大学	公	7.5	2 (1)	南山大学	私	12.4
3 (4)	中京大学	私	9.1	2 (2)	名古屋大学	国	11.1	2 (2)	名古屋市立大学	公	7.5	3 (2)	愛知大学	私	10.5
4 (3)	南山大学	私	7.7	4 (3)	名古屋工業大学	国	8.7	2 (2)	名古屋大学	国	7.5	4 (4)	愛知学院大学	私	8.0
5 (5)	岐阜大学	国	6.6	5 (7)	静岡大学	国	8.0	5 (10)	岐阜大学	国	7.1	5 (5)	愛知県立大学	公	7.3
6 (7)	愛知大学	私	6.3	6 (8)	愛知大学	私	7.9	6 (9)	中京大学	私	6.9	6 (6)	愛知淑徳大学	私	6.6
7 (9)	三重大学	国	6.2	7 (11)	中部大学	私	6.6	7 (15)	三重大学	国	5.9	7 (8)	名城大学	私	6.3
8 (11)	静岡大学	国	6.1	8 (6)	南山大学	私	6.5	8 (6)	金城学院大学	私	5.8	8 (9)	名古屋市立大学	公	5.7
8 (8)	名古屋市立大学	公	6.1	9 (9)	三重大学	国	6.4	9 (5)	愛知淑徳大学	私	5.7	9 (7)	愛知教育大学	国	5.2
10 (9)	愛知学院大学	私	5.6	10 (5)	岐阜大学	国	6.3	10 (7)	堀山女学園大学	私	5.6	10 (12)	名古屋外国语大学	私	5.0
11 (5)	名古屋工業大学	国	5.5	11 (10)	愛知学院大学	私	6.2	11 (10)	名城大学	私	5.3	11 (10)	名古屋大学	国	4.8
12 (12)	愛知県立大学	公	4.8	12 (12)	名古屋市立大学	公	4.9	12 (13)	愛知学院大学	私	4.9	12 (16)	静岡大学	国	4.4
13 (12)	中部大学	私	4.7	13 (13)	愛知教育大学	国	4.4	13 (12)	愛知教育大学	国	4.7	13 (16)	三重大学	国	4.3
14 (14)	愛知教育大学	国	4.6	14 (15)	愛知工業大学	私	3.6	14 (8)	愛知大学	私	4.5	14 (14)	堀山女学園大学	私	4.1
15 (15)	愛知淑徳大学	私	3.9	15 (18)	立命館大学	私	3.2	15 (16)	名古屋外国语大学	私	4.3	15 (20)	岐阜大学	国	4.0
16 (20)	名古屋外国语大学	私	3.1	16 (14)	明治大学	私	2.6	16 (20)	静岡大学	国	4.0	16 (13)	金城学院大学	私	3.9
17 (18)	金城学院大学	私	2.8	16 (20)	横浜国立大学	国	2.6	17 (13)	静岡県立大学	公	3.4	17 (11)	中部大学	私	3.5
17 (16)	静岡県立大学	公	2.8	18 (16)	愛知県立大学	公	2.5	18 (22)	名古屋学芸大学	私	3.3	18 (19)	立命館大学	私	3.3
19 (19)	堀山女学園大学	私	2.6	19 (22)	愛知淑徳大学	私	2.3	19 (19)	常葉大学	私	3.2	19 (18)	常葉大学	私	3.1
20 (17)	常葉大学	私	2.5	19 (24)	京都大学	国	2.3	20 (17)	藤田保健衛生大学	私	2.6	20 (21)	同志社大学	私	3.0
				19 (22)	筑波大学	国	2.3					19 (15)	南山大学	私	2.3

※志願度の割合（%）は、小数点第2位四捨五入

※括弧内は昨年順位

※区分の略称は右記の通り 国／国立 公／公立 私／私立

※青色 = 関東エリアの大学 橙色 = 関西エリアの大学

2015年7月16日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

関東エリアの高校生の「志願したい大学」

資料4

明治大学が7年連続で1位

～関東のみ私立志向強く、東海・関西エリアは国公立志向高まる～
—高校生に聞いた 大学ブランドランキング「進学ブランド力調査2015」より—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口文洋）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林浩）は、高校生の大学選びの動向を明らかにするため、2008年より進学ブランド力調査を実施しております。このたび2015年の調査結果がまとまりましたので、一部をご報告いたします。

関東・東海・関西エリアの『志願したい大学』ランキング … P3～P8

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
全体	明治大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)

- ・関東エリアでは7年連続「明治大学」、東海エリアでは2年連続「名城大学」、関西エリアでは8年連続「関西大学」がそれぞれ志願度トップ。

【男女・文理別】

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
男子1位	明治大学 (昨年1位)	名城大学 (昨年1位)	近畿大学 (昨年2位)
女子1位	明治大学 (昨年1位)	名古屋大学 (昨年2位)	関西大学 (昨年1位) 関西学院大学 (昨年3位)
文系1位	早稲田大学 (昨年2位)	南山大学 (昨年2位)	関西大学 (昨年1位)
理系1位	明治大学 (昨年1位)	名古屋大学 (昨年1位)	神戸大学 (昨年1位)

- ・関東エリアでは、「早稲田大学」が文系で調査開始以来初めて1位となった。
- ・東海エリアでは、女子で「名古屋大学」が3年ぶり、文系で「南山大学」が2年ぶりに1位になった。
- ・関西エリアでは、男子で「近畿大学」が、女子で「関西学院大学」が調査開始以来初めて1位となった。

関東・東海・関西エリアの『知っている大学』ランキング … P9

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
全体1位	早稲田大学 (昨年1位)	名古屋大学 (昨年1位)	関西大学 (昨年1位)

関東・東海・関西エリアの『大学のイメージ』ランキング … P10～P11

	関東エリア	東海エリア	関西エリア
「国際的なセンスが身につく」	1位 東京外国语大学 (昨年2位)	名古屋外国语大学 (昨年2位)	関西外国语大学 (昨年1位)
「おしゃれな」	1位 青山学院大学 (昨年1位)	青山学院大学 (昨年2位)	慶應義塾大学 (昨年4位)
「校風や雰囲気がよい」	1位 青山学院大学 (昨年6位)	名古屋大学 (昨年4位)	関西大学 (昨年7位)
「学校が発展していく可能性がある」	1位 東京大学 (昨年1位)	名古屋大学 (昨年2位)	近畿大学 (昨年4位)

参考【国公立・私立志向】関東は私立志向、東海・関西エリアは国公立志向が高まる (→P12 国公立・私立志向の動向)

- ・2014年からの変化で見ると、関東は国公立志向が減少、私立志向が増加。
- 東海・関西では、国公立志向増加、私立傾向が減少。

※出版・印刷物へデータを転載する際には、「進学ブランド力調査2015」リクルート進学総研調べと明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【リクルート進学総研 WEBサイト】 <http://souken.shingakunet.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 広報担当
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

■ 「名城大学」が2年連続1位。

- ・1位「名城大学」、2位「名古屋大学」、3位「中京大学」は昨年より変化なし。
- ・男女別では、男子で「名古屋工業大学」が昨年4位から3位へ、女子で「名古屋大学」が昨年2位から3年ぶりに1位へ順位を上げた。
- ・文理別では、文系で「南山大学」が昨年2位から2年ぶりに1位へ順位を上げた。

【国公立大学】

- ・ランクインしている校数は昨年同様9校。うちランク上昇6校、ランク変化なし2校、ランク下降1校とランクが上がった大学が多い。
- ・男女別では、女子(8校)に比べて男子(10校)の方がランクイン数が多い。
- ・文理別では、文系(7校)に比べて理系(16校)の方がランクイン数が多い。

【エリア外の大学】

- ・ランクインしている校数は1校「立命館大学」。（昨年は0校）

【順位を上げた大学（5ランク以上）】

男女別・男子「三重大学」(9位→4位)「青山学院大学」(49位→20位)
「同志社大学」(26位→20位)

文理別・文系「常葉大学」(19位→13位)「青山学院大学」(28位→17位)

・理系「愛知県立大学」(22位→15位)「大阪大学」(23位→17位)

「豊橋技術科学大学」(35位→18位)「明治大学」(35位→18位)

「東京大学」(30位→20位)「横浜国立大学」(25位→20位)

志願度(東海エリア)

全体				性別				文理別			
順位	学校名	区分	志願度 (%)	男子		女子		文系		理系	
				順位	学校名	区分	志願度 (%)	順位	学校名	区分	志願度 (%)
1 (1)	名城大学	私	9.4	1 (1)	名城大学	私	12.7	1 (2)	名古屋大学	国	7.9
2 (2)	名古屋大学	国	8.9	2 (2)	名古屋大学	国	9.7	2 (2)	愛知県立大学	公	7.8
3 (3)	中京大学	私	7.2	3 (4)	名古屋工業大学	国	9.6	3 (1)	南山大学	私	7.6
4 (7)	三重大学	国	7.0	4 (9)	三重大学	国	8.5	4 (2)	名古屋市立大学	公	7.0
5 (5)	岐阜大学	国	6.8	5 (2)	中京大学	私	8.4	5 (9)	愛知淑徳大学	私	6.5
6 (4)	南山大学	私	6.4	6 (10)	岐阜大学	国	8.1	6 (6)	中京大学	私	5.9
7 (8)	静岡大学	国	5.9	7 (5)	静岡大学	国	7.9	7 (11)	名城大学	私	5.5
8 (11)	名古屋工業大学	国	5.5	8 (11)	愛知学院大学	私	5.8	8 (5)	岐阜大学	国	5.3
9 (12)	愛知県立大学	公	5.2	9 (7)	中部大学	私	5.6	8 (7)	三重大学	国	5.3
9 (8)	名古屋市立大学	公	5.2	10 (6)	愛知大学	私	5.4	10 (8)	金城学院大学	私	5.1
11 (6)	愛知大学	私	5.0	11 (8)	南山大学	私	5.3	11 (13)	愛知教育大学	国	4.8
12 (14)	愛知教育大学	国	4.6	12 (13)	愛知教育大学	国	4.4	12 (14)	愛知大学	私	4.5
13 (10)	愛知学院大学	私	4.4	13 (12)	名古屋市立大学	公	3.7	13 (10)	椎山学園大学	私	4.1
14 (15)	愛知淑徳大学	私	3.9	14 (18)	愛知県立大学	公	2.9	13 (15)	名古屋外国語大学	私	4.1
14 (13)	中部大学	私	3.9	15 (14)	愛知工業大学	私	2.8	15 (17)	静岡県立大学	公	4.0
16 (17)	静岡県立大学	公	3.1	16 (16)	明治大学	私	2.5	16 (16)	静岡大学	国	3.5
17 (16)	名古屋外国語大学	私	2.8	17 (15)	立命館大学	私	2.4	17 (19)	常葉大学	私	3.1
18 (20)	常葉大学	私	2.6	18 (22)	静岡県立大学	公	2.3	18 (12)	愛知学院大学	私	2.6
19 (17)	金城学院大学	私	2.4	18 (16)	横浜國立大学	国	2.3	19 (20)	藤田保健衛生大学	私	2.5
20 (21)	立命館大学	私	2.3	20 (49)	青山学院大学	私	2.2	20 (18)	名古屋学芸大学	私	2.4
				20 (26)	同志社大学	私	2.2	20 (21)	名古屋女子大学	私	2.4

※志願度の割合(%)は、小数点第2位四捨五入

※括弧内は昨年順位

※区分の略称は右記の通り 国／国立 公／公立 私／私立

※青色 = 関東エリアの大学 橙色 = 関西エリアの大学

『高校生に聞いた大学ブランドランキング2015』イメージ項目ランキング （『進学ブランド力調査2015』より）

伝統や実績がある									活気がある感じがする									有名である									
関東エリア			東海エリア			関西エリア			関東エリア			東海エリア			関西エリア			関東エリア			東海エリア			関西エリア			
順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%
1 (1)	東京大学	国	71.4	1 (1)	東京大学	国	60.6	1 (2)	京都大学	国	59.8	1 (7)	青山学院大学	私	34.6	1 (2)	東京大学	国	20.6	1 (1)	近畿大学	私	38.0	1 (1)	東京大学	国	65.3
2 (2)	早稲田大学	私	61.9	2 (2)	名古屋大学	国	49.8	2 (1)	東京大学	国	50.8	2 (1)	早稲田大学	私	32.8	2 (9)	青山学院大学	私	19.5	2 (4)	関西大学	私	26.1	2 (4)	青山学院大学	私	69.1
3 (4)	慶應義塾大学	私	55.0	3 (5)	京都大学	国	46.3	3 (3)	早稲田大学	私	47.6	3 (2)	明治大学	私	26.0	3 (3)	日本体育大学	私	19.4	3 (2)	早稲田大学	私	21.6	2 (3)	早稲田大学	私	69.1
4 (5)	京都大学	国	51.4	4 (3)	早稲田大学	私	44.4	4 (4)	大阪大学	国	44.2	4 (5)	東京大学	国	24.3	4 (4)	中京大学	私	18.0	4 (7)	京都大学	国	20.0	4 (6)	上智大学	私	62.6
5 (8)	青山学院大学	私	50.8	5 (4)	慶應義塾大学	私	43.2	5 (6)	同志社大学	私	43.8	5 (3)	日本体育大学	私	23.4	5 (7)	慶應義塾大学	私	17.9	5 (8)	立命館大学	私	19.8	5 (5)	慶應義塾大学	私	62.0
6 (3)	明治大学	私	48.3	6 (6)	明治大学	私	41.3	6 (8)	慶應義塾大学	私	42.3	6 (8)	立教大学	私	23.3	6 (1)	早稲田大学	私	15.9	6 (5)	東京大学	国	18.4	6 (2)	明治大学	私	61.2
7 (13)	立教大学	私	44.7	7 (13)	立命館大学	私	30.7	7 (7)	立命館大学	私	41.2	7 (4)	慶應義塾大学	私	22.3	7 (5)	名古屋大学	国	15.8	7 (12)	関西学院大学	私	18.0	7 (13)	立教大学	私	57.8
8 (9)	上智大学	私	44.2	8 (11)	お茶の水女子大学	国	29.4	8 (9)	近畿大学	私	39.8	8 (6)	日本大学	私	21.8	8 (21)	駒澤大学	私	15.7	8 (11)	慶應義塾大学	私	17.8	8 (14)	京都大学	国	57.0
9 (7)	学習院大学	私	41.8	9 (7)	同志社大学	私	28.4	9 (5)	神戸大学	国	37.8	9 (10)	京都大学	国	17.9	9 (8)	明治大学	私	15.3	9 (16)	神戸大学	国	15.6	9 (10)	日本大学	私	51.8
10 (6)	一橋大学	国	40.6	10 (11)	一橋大学	国	27.7	10 (11)	関西大学	私	37.2	10 (9)	上智大学	私	17.6	10 (13)	京都大学	国	14.2	10 (10)	大阪大学	国	14.9	10 (7)	法政大学	私	49.9
10 (12)	一橋大学	国	40.6	10 (11)	同志社大学	私	27.7	10 (11)	関西大学	私	37.2	10 (9)	上智大学	私	17.6	10 (13)	京都大学	国	14.2	10 (12)	立命館大学	私	42.0	10 (9)	慶應義塾大学	私	49.7

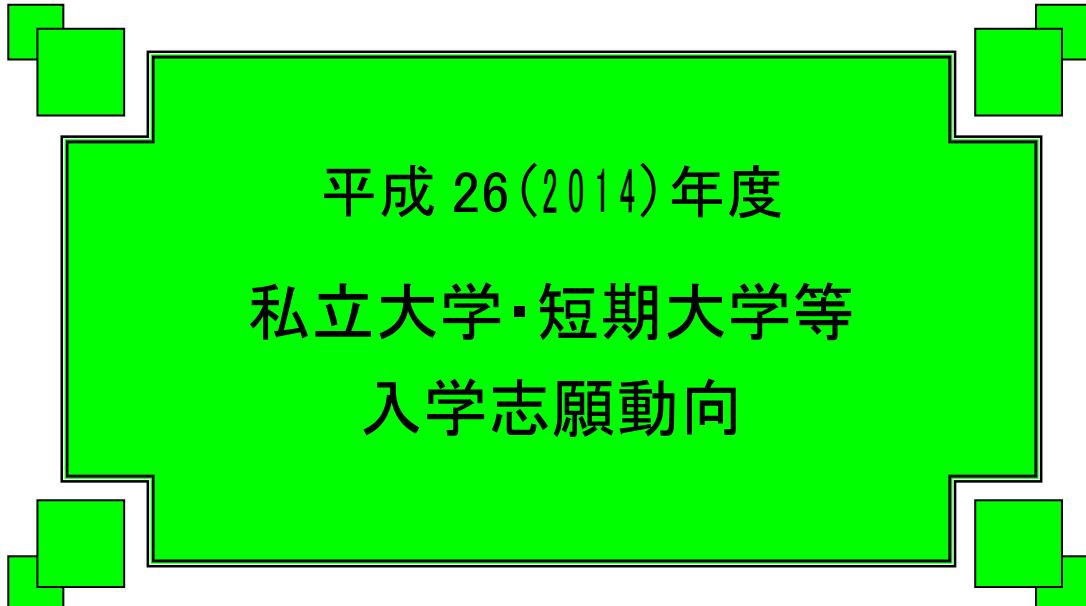
校風や雰囲気がよい									学校が発展していく可能性がある									学びたい学部・学科がある									
関東エリア			東海エリア			関西エリア			関東エリア			東海エリア			関西エリア			関東エリア			東海エリア			関西エリア			
順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%
1 (6)	青山学院大学	私	30.9	1 (4)	名古屋大学	国	17.6	1 (7)	関西大学	私	19.6	1 (1)	東京大学	国	22.6	1 (2)	名古屋大学	国	23.1	1 (4)	近畿大学	私	27.5	1 (1)	明治大学	私	20.9
2 (2)	慶應義塾大学	私	22.3	2 (1)	東京大学	国	16.0	2 (10)	近畿大学	私	18.4	2 (5)	慶應義塾大学	私	17.9	2 (1)	東京大学	国	18.6	2 (1)	京都大学	国	22.6	2 (2)	早稲田大学	私	19.7
3 (1)	早稲田大学	私	20.2	3 (6)	京都大学	国	13.6	3 (1)	青山学院大学	私	18.1	3 (6)	青山学院大学	私	17.3	3 (3)	京都大学	国	15.4	3 (2)	東京大学	国	17.5	3 (8)	立教大学	私	18.0
4 (8)	立教大学	私	19.8	3 (3)	慶應義塾大学	私	13.6	4 (3)	早稲田大学	私	17.2	4 (4)	京都大学	国	16.8	4 (8)	名城大学	私	12.3	4 (3)	大阪大学	国	17.4	4 (5)	東京大学	国	17.2
5 (4)	東京大学	国	19.3	5 (8)	青山学院大学	私	11.9	5 (2)	関西学院大学	私	15.9	5 (2)	慶應義塾大学	私	16.6	5 (4)	慶應義塾大学	私	11.1	5 (5)	早稲田大学	私	16.3	5 (11)	青山学院大学	私	16.9
5 (3)	明治大学	私	19.3	6 (5)	明治大学	私	10.6	6 (5)	同志社大学	私	15.8	6 (7)	上智大学	私	14.2	6 (7)	早稲田大学	私	10.6	6 (11)	神戸大学	国	14.7	6 (3)	慶應義塾大学	私	16.8
7 (5)	上智大学	私	18.8	7 (7)	南山大学	私	10.1	7 (12)	神戸大学	国	15.5	7 (3)	明治大学	私	13.1	7 (15)	立命館大学	私	10.0	7 (8)	立命館大学	私	12.0	7 (6)	法政大学	私	15.7
8 (7)	京都大学	国	14.8	8 (13)	立命館大学	私	9.3	7 (7)	立命館大学	私	15.5	8 (12)	立教大学	私	12.4	8 (8)	中京大学	私	8.0	8 (13)	大阪市立大学	公	10.9	8 (3)	日本大学	私	15.0
9 (19)	筑波大学	国	12.4	8 (2)	早稲田大学	私	9.3	9 (14)	大阪大学	国	13.6	9 (14)	筑波大学	国	12.0	8 (6)	明治大学	私	8.0	9 (15)	筑波大学	国	11.7	9 (14)	京都大学	国	9.8
10 (12)	一橋大学	国	12.0	10 (11)	同志社大学	私	8.2	10 (4)	慶應義塾大学	私	13.1	10 (17)	千葉大学	国	8.7	10 (14)	筑波大学	私	7.5	10 (12)	関西学院大学	私	10 (16)	慶應義塾大学	私	8.0	
10 (8)	東京大学	国	12.0	10 (8)	東京理科大学	私	8.2	10 (12)	東京理科大学	私	7.5	10 (9)	横浜国立大学	国	7.5	10 (10)	京都大学	国	11.5	10 (16)	慶應義塾大学	私	8.0	10 (11)	早稲田大学	私	9.8
10 (9)	三重大学	国	8.0	10 (9)	三重大学	国	8.0	10 (9)	三重大学	国																	

『高校生に聞いた大学ブランドランキング2015』イメージ項目ランキング
(『進学ブランド力調査2015』より)

国際的なセンスが身につく								教授・講師陣が魅力的である								先輩・卒業生が魅力的である															
関東エリア				東海エリア				関西エリア				関東エリア				東海エリア				関西エリア				関東エリア							
順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%	順位	学校名	区分	%				
1 (2)	東京外国語大学	国	27.5	1 (2)	名古屋外国語大学	私	25.8	1 (1)	関西外国語大学	私	19.1	1 (1)	東京大学	国	26.4	1 (1)	東京大学	国	24.6	1 (1)	京都大学	国	21.6	1 (1)	東京大学	国	26.8	1 (1)	京都大学	国	18.6
2 (1)	上智大学	私	25.1	2 (3)	南山大学	私	18.9	2 (4)	京都大学	国	17.1	2 (2)	京都大学	国	16.1	2 (2)	名古屋大学	国	15.2	2 (2)	東京大学	国	13.1	2 (4)	京都大学	国	17.6	2 (5)	京都大学	国	15.4
3 (3)	東京大学	国	23.2	3 (1)	東京大学	国	17.3	3 (3)	東京大学	国	13.6	3 (4)	慶應義塾大学	私	12.5	3 (3)	京都大学	国	13.0	3 (3)	早稻田大学	私	11.3	3 (3)	慶應義塾大学	私	14.2	3 (3)	早稻田大学	私	13.3
4 (5)	国際基督教大学	私	20.9	4 (5)	上智大学	私	15.3	4 (9)	神戸市外国語大学	公	13.4	4 (3)	早稻田大学	私	10.5	4 (5)	慶應義塾大学	私	9.9	4 (4)	大阪大学	国	9.0	4 (2)	早稻田大学	私	15.6	4 (4)	名古屋大学	国	14.0
5 (9)	京都大学	国	17.5	5 (4)	東京外国語大学	国	12.8	5 (2)	京都外国語大学	私	12.7	5 (6)	上智大学	私	7.1	5 (24)	名城大学	私	8.9	5 (8)	慶應義塾大学	私	6.8	5 (5)	明治大学	私	10.7	5 (11)	明治大学	私	11.3
6 (8)	青山学院大学	私	17.3	6 (6)	関西外国語大学	私	12.2	5 (5)	早稻田大学	私	12.7	6 (6)	明治大学	私	6.6	6 (11)	明治大学	私	8.0	6 (7)	神戸大学	国	6.4	6 (10)	青山学院大学	私	9.7	6 (2)	早稻田大学	私	8.6
7 (12)	立教大学	私	15.9	7 (8)	名古屋大学	国	10.3	7 (7)	東京外国語大学	国	10.4	7 (11)	千葉大学	国	6.4	7 (6)	一橋大学	国	6.6	7 (17)	近畿大学	私	5.5	7 (8)	立教大学	私	9.1	7 (22)	青山学院大学	私	6.9
8 (6)	神田外語大学	私	12.9	8 (10)	慶應義塾大学	私	9.9	8 (8)	上智大学	私	10.2	8 (8)	立教大学	私	6.3	7 (4)	早稻田大学	私	6.6	8 (23)	大阪市立大学	公	5.4	8 (7)	上智大学	私	8.6	8 (8)	日本体育大学	私	6.2
9 (7)	慶應義塾大学	私	12.4	9 (14)	明治大学	私	9.3	9 (11)	神戸大学	国	9.0	9 (20)	名古屋大学	国	5.9	9 (30)	同志社大学	私	5.7	9 (14)	関西大学	私	4.9	9 (6)	一橋大学	国	7.5	9 (9)	中京大学	私	6.0
10 (3)	早稻田大学	私	12.3	10 (12)	京都大学	国	8.6	10 (10)	大阪大学	国	8.9	9 (12)	法政大学	私	5.9	10 (37)	横浜国立大学	国	4.7	10 (10)	同志社大学	私	4.8	10 (9)	学習院大学	私	6.4	9 (30)	立命館大学	私	6.0
				10 (6)	早稻田大学	私	8.6	10 (5)	同志社大学	私	8.9								10 (41)	東京外国語大学	国	6.4									

※括弧内は昨年順位、(一)は昨年調査対象外

※区分の略称は以下の通り 国／国立 公／公立 私／私立



平成 26(2014)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団
私学経営情報センター

5. 主な学部別の志願者・入学者動向(大学)

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	学部名	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度
医学	29	29	0	3,660	3,668	8	97,521	110,427	12,906	3,691	3,736	45	100.85	101.85	1.00
歯学	17	17	0	2,063	2,063	0	6,466	8,029	1,563	1,694	1,755	61	82.11	85.07	2.96
薬学	57	57	0	11,524	11,484	△ 40	104,253	121,877	17,624	12,556	12,225	△ 331	108.96	106.45	△ 2.51
保健系	161	175	14	24,734	27,033	2,299	157,627	164,659	7,032	27,307	29,156	1,849	110.40	107.85	△ 2.55
看護学部	58	66	8	5,302	6,117	815	35,827	37,965	2,138	5,945	6,722	777	112.13	109.89	△ 2.24
保健医療学部	23	29	6	3,645	4,565	920	20,233	25,098	4,865	4,151	5,015	864	113.88	109.86	△ 4.02
リハビリテーション学部	11	10	△ 1	965	905	△ 60	4,602	4,759	157	1,035	1,013	△ 22	107.25	111.93	4.68
医療保健学部	6	6	0	1,450	1,610	160	11,028	12,062	1,034	1,513	1,728	215	104.34	107.33	2.99
保健科学部	5	5	0	1,075	1,075	0	5,711	5,761	50	1,211	1,173	△ 38	112.65	109.12	△ 3.53
栄養学部	4	4	0	732	732	0	4,422	4,267	△ 155	787	711	△ 76	107.51	97.13	△ 10.38
医療福祉学部	4	4	0	1,016	1,016	0	2,900	2,602	△ 298	983	940	△ 43	96.75	92.52	△ 4.23
医療学部	4	4	0	380	420	40	661	736	75	378	391	13	99.47	93.10	△ 6.37
医療技術学部	3	3	0	1,490	1,540	50	12,774	11,923	△ 851	1,738	1,810	72	116.64	117.53	0.89
看護福祉学部	3	3	0	630	630	0	3,686	3,394	△ 292	702	603	△ 99	111.43	95.71	△ 15.72
保健福祉学部	3	3	0	675	675	0	2,565	2,278	△ 287	710	696	△ 14	105.19	103.11	△ 2.08
看護栄養学部	3	3	0	437	437	0	2,215	1,915	△ 300	473	465	△ 8	108.24	106.41	△ 1.83
医療科学部	3	3	0	875	878	3	5,471	5,348	△ 123	986	1,025	39	112.69	116.74	4.05
ヒューマンケア学部	3	3	0	597	597	0	5,467	4,712	△ 755	661	657	△ 4	110.72	110.05	△ 0.67
その他	28	29	1	5,465	5,836	371	40,065	41,839	1,774	6,034	6,207	173	110.41	106.36	△ 4.05
理・工学系	147	146	△ 1	59,211	59,281	70	607,166	651,819	44,653	64,934	64,437	△ 497	109.67	108.70	△ 0.97
工学部	52	54	2	24,965	25,657	692	196,721	212,798	16,077	27,308	27,681	373	109.39	107.89	△ 1.50
理工学部	26	27	1	16,435	16,660	225	230,769	247,188	16,419	17,912	18,007	95	108.99	108.09	△ 0.90
理学部	13	13	0	4,056	4,056	0	49,726	51,870	2,144	4,574	4,588	14	112.77	113.12	0.35
情報科学部	5	5	0	1,186	1,186	0	15,293	17,469	2,176	1,390	1,262	△ 128	117.20	106.41	△ 10.79
生命科学部	5	5	0	1,157	1,175	18	17,110	16,700	△ 410	1,241	1,307	66	107.26	111.23	3.97
デザイン工学部	4	4	0	902	907	5	11,588	12,493	905	1,023	1,029	6	113.41	113.45	0.04
環境学部	3	3	0	480	450	△ 30	3,258	3,862	604	553	500	△ 53	115.21	111.11	△ 4.10
その他	39	35	△ 4	10,030	9,190	△ 840	82,701	89,439	6,738	10,933	10,063	△ 870	109.00	109.50	0.50
農学系	17	17	0	6,960	6,960	0	77,662	82,167	4,505	7,814	7,789	△ 25	112.27	111.91	△ 0.36
農学部	6	6	0	2,460	2,460	0	40,357	42,225	1,868	2,755	2,756	1	111.99	112.03	0.04
獣医学部	3	3	0	740	740	0	10,663	11,567	904	855	861	6	115.54	116.35	0.81
その他	8	8	0	3,760	3,760	0	26,642	28,375	1,733	4,204	4,172	△ 32	111.81	110.96	△ 0.85
人文科学系	238	238	0	70,568	70,257	△ 311	512,645	511,565	△ 1,080	75,409	73,365	△ 2,044	106.86	104.42	△ 2.44
文学部	86	87	1	34,895	35,137	242	294,203	281,937	△ 12,266	38,140	37,644	△ 496	109.30	107.13	△ 2.17
人文学部	32	31	△ 1	7,893	7,385	△ 508	38,038	36,331	△ 1,707	7,621	7,094	△ 527	96.55	96.06	△ 0.49
外国語学部	27	28	1	9,721	9,886	165	65,062	78,682	13,620	10,728	10,615	△ 113	110.36	107.37	△ 2.99
心理学部	14	14	0	2,069	2,065	△ 4	16,737	15,337	△ 1,400	2,325	2,109	△ 216	112.37	102.13	△ 10.24
人間学部	14	14	0	3,155	3,120	△ 35	11,049	11,261	212	3,316	3,053	△ 263	105.10	97.85	△ 7.25
国際文化学部	8	8	0	1,834	1,704	△ 130	12,167	12,807	640	1,756	1,599	△ 157	95.75	93.84	△ 1.91
神学部	6	6	0	200	183	△ 17	1,012	935	△ 77	177	177	0	88.50	96.72	8.22
仏教学部	5	5	0	485	485	0	1,967	1,574	△ 393	517	475	△ 42	106.60	97.94	△ 8.66
人間関係学部	5	5	0	1,070	1,070	0	3,040	3,334	294	1,135	1,092	△ 43	106.07	102.06	△ 4.01
グローバル・コミュニケーション学部	3	3	0	610	610	0	3,069	3,147	78	518	572	54	84.92	93.77	8.85
現代文化学部	4	4	0	720	720	0	1,412	1,443	31	646	629	△ 17	89.72	87.36	△ 2.36
文芸学部	3	3	0	1,180	1,180	0	13,722	13,293	△ 429	1,341	1,312	△ 29	113.64	111.19	△ 2.45
その他	31	30	△ 1	6,736	6,712	△ 24	51,167	51,484	317	7,189	6,994	△ 195	106.73	104.20	△ 2.53
社会科学系	507	505	△ 2	167,324	165,517	△ 1,807	1,156,547	1,146,575	△ 9,972	171,992	168,524	△ 3,468	102.79	101.82	△ 0.97
経済学部	93	94	1	41,275	40,343	△ 932	293,774	301,231	7,457	42,435	41,104	△ 1,331	102.81	101.89	△ 0.92
法学部	81	82	1	31,428	31,476	48	231,867	228,674	△ 3,193	33,197	33,095	△ 102	105.63	105.14	△ 0.49
経営学部	79	82	3	24,165	25,083	918	188,060	188,841	781	25,189	25,498	309	104.24	101.65	△ 2.59
商学部	30	31	1	14,456	14,606	150	114,926	107,856	△ 7,070	15,511	15,109	△ 402	107.30	103.44	△ 3.86
社会福祉学部	23	23	0	5,169	5,069	△ 100	12,918	12,603	△ 315	4,708	4,644	△ 64	91.08	91.62	0.54
社会学部	20	20	0	7,279	7,269	△ 10	73,736	70,406	△ 3,330	7,697	7,642	△ 55	105.74	105.13	△ 0.61
経営情報学部	14	13	△ 1	2,880	2,740	△ 140	5,527	5,117	△ 410	2,513	2,175	△ 338	87.26	79.38	△ 7.88
総合政策学部	12	12	0	3,161	3,157	△ 4	22,134	22,099	△ 35	3,045	2,886	△ 159	96.33	91.42	△ 4.91
情報学部	11	9	△ 2	2,480	2,020	△ 460	10,772	10,795	23	2,448	2,144	△ 304	98.71	106.14	7.43

平成 27(2015)年度
私立大学・短期大学等
入学志願動向

5. 主な学部別の志願者・入学者動向(大学)

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	学部名	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度	増減	26年度	27年度
医学	29	29	0	3,668	3,709	41	110,427	110,851	424	3,736	3,751	15	101.85	101.13	△ 0.72
歯学	17	17	0	2,063	2,063	0	8,029	9,898	1,869	1,755	1,840	85	85.07	89.19	4.12
薬学	57	57	0	11,484	11,564	80	121,876	116,498	△ 5,378	12,224	11,816	△ 408	106.44	102.18	△ 4.26
保健系	175	192	17	27,033	28,998	1,965	164,659	170,604	5,945	29,156	31,205	2,049	107.85	107.61	△ 0.24
看護学部	66	78	12	6,117	7,142	1,025	37,965	44,257	6,292	6,722	7,738	1,016	109.89	108.35	△ 1.54
保健医療学部	29	30	1	4,565	4,845	280	25,098	24,934	△ 164	5,015	5,424	409	109.86	111.95	2.09
リハビリテーション学部	10	10	0	905	905	0	4,759	4,165	△ 594	1,013	926	△ 87	111.93	102.32	△ 9.61
医療保健学部	6	6	0	1,610	1,610	0	12,062	9,813	△ 2,249	1,728	1,679	△ 49	107.33	104.29	△ 3.04
保健科学部	5	6	1	1,075	1,165	90	5,761	5,628	△ 133	1,173	1,288	115	109.12	110.56	1.44
栄養学部	4	5	1	732	832	100	4,267	5,167	900	711	834	123	97.13	100.24	3.11
医療学部	4	4	0	420	420	0	736	759	23	391	393	2	93.10	93.57	0.47
医療福祉学部	4	4	0	1,016	1,016	0	2,602	2,487	△ 115	940	849	△ 91	92.52	83.56	△ 8.96
医療技術学部	3	3	0	1,540	1,540	0	11,923	12,057	134	1,810	1,790	△ 20	117.53	116.23	△ 1.30
看護栄養学部	3	3	0	437	437	0	1,915	2,007	92	465	480	15	106.41	109.84	3.43
看護福祉学部	3	3	0	630	630	0	3,394	3,118	△ 276	603	634	31	95.71	100.63	4.92
医療科学部	3	3	0	878	878	0	5,348	4,888	△ 460	1,025	1,038	13	116.74	118.22	1.48
保健福祉学部	3	3	0	675	655	△ 20	2,278	2,106	△ 172	696	691	△ 5	103.11	105.50	2.39
ヒューマンケア学部	3	3	0	597	617	20	4,712	4,687	△ 25	657	621	△ 36	110.05	100.65	△ 9.40
その他	29	31	2	5,836	6,306	470	41,839	44,531	2,692	6,207	6,820	613	106.36	108.15	1.79
理・工学系	146	147	1	59,281	59,933	652	651,819	665,838	14,019	64,437	65,164	727	108.70	108.73	0.03
工学部	54	54	0	25,657	25,542	△ 115	212,798	225,857	13,059	27,681	27,847	166	107.89	109.02	1.13
理工学部	27	29	2	16,660	17,411	751	247,188	251,299	4,111	18,007	18,725	718	108.09	107.55	△ 0.54
理学部	13	13	0	4,056	4,056	0	51,870	47,664	△ 4,206	4,588	4,360	△ 228	113.12	107.50	△ 5.62
情報科学部	5	5	0	1,186	1,166	△ 20	17,469	18,776	1,307	1,262	1,320	58	106.41	113.21	6.80
生命科学部	5	5	0	1,175	1,201	26	16,700	17,537	837	1,307	1,210	△ 97	111.23	100.75	△ 10.48
デザイン工学部	4	4	0	907	907	0	12,493	13,105	612	1,029	998	△ 31	113.45	110.03	△ 3.42
環境学部	3	2	△ 1	450	350	△ 100	3,862	2,307	△ 1,555	500	384	△ 116	111.11	109.71	△ 1.40
その他	35	35	0	9,190	9,300	110	89,439	89,293	△ 146	10,063	10,320	257	109.50	110.97	1.47
農学系	17	18	1	6,960	7,515	555	82,167	85,235	3,068	7,789	8,491	702	111.91	112.99	1.08
農学部	6	7	1	2,460	2,895	435	42,225	45,987	3,762	2,756	3,215	459	112.03	111.05	△ 0.98
獣医学部	3	3	0	740	740	0	11,567	10,269	△ 1,298	861	853	△ 8	116.35	115.27	△ 1.08
その他	8	8	0	3,760	3,880	120	28,375	28,979	604	4,172	4,423	251	110.96	113.99	3.03
人文科学系	237	236	△ 1	70,057	69,407	△ 650	510,840	512,590	1,750	73,132	72,905	△ 227	104.39	105.04	0.65
文学部	87	86	△ 1	35,137	34,703	△ 434	281,937	283,368	1,431	37,644	37,536	△ 108	107.13	108.16	1.03
人文学部	31	31	0	7,385	7,230	△ 155	36,331	34,526	△ 1,805	7,094	7,041	△ 53	96.06	97.39	1.33
外国語学部	28	28	0	9,886	9,866	△ 20	78,682	83,488	4,806	10,615	10,552	△ 63	107.37	106.95	△ 0.42
心理学部	14	14	0	2,065	2,165	100	15,337	14,924	△ 413	2,109	2,199	90	102.13	101.57	△ 0.56
人間学部	13	13	0	2,920	2,970	50	10,536	8,990	△ 1,546	2,820	2,808	△ 12	96.58	94.55	△ 2.03
国際文化学部	8	9	1	1,704	1,664	△ 40	12,807	9,120	△ 3,687	1,599	1,442	△ 157	93.84	86.66	△ 7.18
神学部	6	6	0	183	183	0	935	945	10	177	181	4	96.72	98.91	2.19
仏教学部	5	5	0	485	485	0	1,574	1,635	61	475	523	48	97.94	107.84	9.90
人間関係学部	5	5	0	1,070	1,070	0	3,334	2,912	△ 422	1,092	965	△ 127	102.06	90.19	△ 11.87
現代文化学部	4	4	0	720	680	△ 40	1,443	1,547	104	629	707	78	87.36	103.97	16.61
グローバル・コミュニケーション学部	3	4	1	610	760	150	3,147	3,659	512	572	710	138	93.77	93.42	△ 0.35
文芸学部	3	3	0	1,180	1,180	0	13,293	18,320	5,027	1,312	1,418	106	111.19	120.17	8.98
その他	30	28	△ 2	6,712	6,451	△ 261	51,484	49,156	△ 2,328	6,994	6,823	△ 171	104.20	105.77	1.57
社会科学系	506	510	4	165,717	165,444	△ 273	1,147,300	1,183,048	35,748	168,757	173,589	4,832	101.83	104.92	3.09
経済学部	94	94	0	40,343	39,868	△ 475	301,231	312,763	11,532	41,104	42,264	1,160	101.89	106.01	4.12
法学部	82	81	△ 1	31,476	31,176	△ 300	228,674	235,423	6,749	33,095	33,650	555	105.14	107.94	2.80
経営学部	82	81	△ 1	25,083	24,708	△ 375	188,841	193,204	4,363	25,498	25,687	189	101.65	103.96	2.31
商学部	31	31	0	14,606	14,656	50	107,856	110,305	2,449	15,109	15,427	318	103.44	105.26	1.82
社会福祉学部	23	23	0	5,069	4,809	△ 260	12,603	12,221	△ 382	4,644	4,446	△ 198	91.62	92.45	0.83
社会学部	20	21	1	7,269	7,649	380	70,406	73,227	2,821	7,642	8,079	437	105.13	105.62	0.49
経営情報学部	13	13	0	2,740	2,672	△ 68	5,117	5,727	610	2,175	2,341	166	79.38	87.61	8.23
人間社会学部	12	13	1	2,945	3,175	230	12,777	12,442	△ 335	2,778	3,138	360	94.33	98.83	4.50
総合政策学部	12	11	△ 1	3,157	2,807	△ 350	22,099	22,148	49	2,886	2,844	△ 42	91.42	101.32	9.90

名城大学における過去5年間の入学志願状況

学部名	学科名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
法学部	法学科	志願者数	2,172	1,817	1,952	2,190	2,379
		合格者数	948	1,076	1,099	1,035	1,247
		入学者数	344	355	384	354	369
		入学定員	360	360	360	360	360
		志願倍率	6.0	5.0	5.4	6.1	5.8
	応用実務法学科	定員充足率	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0
		志願者数	913	737	542	522	589
		合格者数	382	467	432	499	352
		入学者数	170	191	178	207	160
		入学定員	170	170	170	170	170
経営学部	経営学科	志願倍率	5.4	4.3	3.2	3.1	3.5
		定員充足率	1.0	1.1	1.0	1.2	0.9
		志願者数	1,681	1,040	2,023	1,513	1,660
		合格者数	455	537	421	479	437
		入学者数	208	267	204	238	201
	国際経営学科	入学定員	195	195	195	195	195
		志願倍率	8.6	5.3	10.4	7.8	8.5
		定員充足率	1.1	1.4	1.0	1.2	1.0
		志願者数	377	234	412	266	510
		合格者数	169	205	182	190	233
経済学部	経済学科	入学者数	96	124	112	98	101
		入学定員	90	90	90	90	90
		志願倍率	4.2	2.6	4.6	3.0	5.7
		定員充足率	1.1	1.4	1.2	1.1	1.1
		志願者数	1,415	1,565	1,431	1,610	1,673
	産業社会学科	合格者数	518	616	557	555	622
		入学者数	224	214	208	209	202
		入学定員	185	185	185	185	185
		志願倍率	7.6	8.5	7.7	8.7	9.0
		定員充足率	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
理学部	数学科	志願者数	456	372	250	356	365
		合格者数	219	231	210	227	210
		入学者数	120	104	118	115	117
		入学定員	100	100	100	100	100
		志願倍率	4.6	3.7	2.5	3.6	3.7
	情報工学科	定員充足率	1.2	1.0	1.2	1.2	1.1
		志願者数	1,306	1,008	1,263	1,320	1,238
		合格者数	386	399	440	434	450
		入学者数	90	93	94	82	98
		入学定員	85	85	85	85	85
理工学部	電気電子工学科	志願倍率	15.4	11.9	14.9	15.5	14.6
		定員充足率	1.1	1.1	1.1	1.0	1.2
		志願者数	1,484	1,301	2,444	2,618	2,899
		合格者数	407	371	662	751	681
		入学者数	130	112	160	154	156
	材料機能工学科	入学定員	101	101	145	145	145
		志願倍率	14.7	12.9	16.9	18.1	20.0
		定員充足率	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1
		志願者数	1,398	1,128	2,125	2,258	2,271
		合格者数	530	483	757	784	748
人文学部	応用化学科	入学者数	112	99	152	138	133
		入学定員	101	101	130	130	130
		志願倍率	13.8	11.2	16.3	17.4	17.5
		定員充足率	1.1	1.0	1.2	1.1	1.0
		志願者数	889	859	895	1,199	954
	機械工学科	合格者数	339	364	333	357	393
		入学者数	75	73	90	60	60
		入学定員	67	67	65	65	66
		志願倍率	13.3	12.8	13.8	18.4	14.7
		定員充足率	1.1	1.1	1.4	0.9	0.9
人間社会学部	国際教養学科	志願者数	-	-	1,899	1,598	1,704
		合格者数	-	-	455	445	491
		入学者数	-	-	67	55	63
		入学定員	-	-	60	60	60
		志願倍率	-	-	31.7	26.6	28.4
	国際文化学科	定員充足率	-	-	1.1	0.9	1.1
		志願者数	1,646	1,387	2,384	2,527	2,991
		合格者数	567	525	690	867	812
		入学者数	126	108	121	159	146
		入学定員	101	101	120	120	112
保健医療学部	看護学科	志願倍率	16.3	13.7	19.9	21.1	24.9
		定員充足率	1.2	1.1	1.0	1.3	1.2
		志願者数	1,646	1,387	2,384	2,527	2,991
		合格者数	567	525	690	867	812
		入学者数	126	108	121	159	146
	歯学系	入学定員	101	101	120	120	112
		志願倍率	16.3	13.7	19.9	21.1	24.9
		定員充足率	1.2	1.1	1.0	1.3	1.2
		志願者数	1,646	1,387	2,384	2,527	2,991
		合格者数	567	525	690	867	812

学部名	学科名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均		
理工学部	交通機械工学科	志願者数	579	658	1,041	1,500	1,353	1,026	
		合格者数	228	263	329	361	370	310	
		入学者数	99	100	120	134	109	112	
		入学定員	91	91	110	110	110	102	
		志願倍率	6.4	7.2	9.5	13.6	12.3	9.8	
	メカトロニクス工学科	定員充足率	1.1	1.1	1.1	1.2	1.0	1.1	
		志願者数	-	-	872	973	991	945	
		合格者数	-	-	300	256	272	276	
		入学者数	-	-	105	73	81	86	
		入学定員	-	-	75	75	75	75	
	社会基盤デザイン工学科	志願倍率	-	-	11.6	13.0	13.2	12.6	
		定員充足率	-	-	1.4	1.0	1.1	1.2	
		志願者数	382	312	636	922	1,055	661	
		合格者数	210	203	341	346	355	291	
		入学者数	76	67	113	103	112	94	
	環境創造学科	入学定員	91	91	90	90	90	90	
		志願倍率	4.2	3.4	7.1	10.2	11.7	7.3	
		定員充足率	0.8	0.7	1.3	1.1	1.2	1.0	
		志願者数	453	531	500	965	940	678	
		合格者数	240	222	284	331	339	283	
	建築学科	入学者数	87	64	98	91	91	86	
		入学定員	67	67	90	90	90	81	
		志願倍率	6.8	7.9	5.6	10.7	10.4	8.3	
		定員充足率	1.3	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1	
		志願者数	969	899	1,849	1,998	2,152	1,573	
	工学系	合格者数	342	337	538	552	582	470	
		入学者数	118	115	149	155	166	141	
		入学定員	95	95	135	135	135	119	
		志願倍率	10.2	9.5	13.7	14.8	15.9	12.8	
		定員充足率	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	
	生物資源学科	志願者数	4,137	4,415	-	-	-	4,276	
		合格者数	1,407	1,632	-	-	-	1,520	
		入学者数	328	380	-	-	-	354	
		入学定員	306	306	-	-	-	306	
		志願倍率	13.5	14.4	-	-	-	14.0	
	応用生物化学科	定員充足率	1.1	1.2	-	-	-	1.2	
		志願者数	1,323	1,043	1,151	1,150	1,171	1,168	
		合格者数	425	416	375	401	465	416	
		入学者数	112	113	117	110	108	112	
		入学定員	100	100	100	100	100	100	
	生物環境科学科	志願倍率	13.2	10.4	11.5	11.5	11.7	11.7	
		定員充足率	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	
		志願者数	1,831	1,764	1,743	1,882	1,722	1,788	
		合格者数	515	530	530	565	572	542	
		入学者数	112	104	119	114	118	113	
	薬学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	
		志願倍率	18.3	17.6	17.4	18.8	17.2	17.9	
		定員充足率	1.1	1.0	1.2	1.1	1.2	1.1	
		志願者数	1,100	1,157	1,020	1,091	1,110	1,096	
		合格者数	379	376	383	350	424	382	
	都市情報学科	入学者数	140	105	108	100	114	113	
		入学定員	100	100	100	100	100	100	
		志願倍率	11.0	11.6	10.2	10.9	11.1	11.0	
		定員充足率	1.4	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	
		志願者数	2,119	1,993	2,261	2,642	2,740	2,351	
	人間学科	合格者数	739	857	931	882	928	867	
		入学者数	257	252	296	278	285	274	
		入学定員	250	250	250	250	250	250	
		志願倍率	8.5	8.0	9.0	10.6	11.0	9.4	
		定員充足率	1.0	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1	
	名城大学	志願者数	824	808	679	723	1,483	903	
		合格者数	464	512	504	538	557	515	
		入学者数	211	208	211	197	242	214	
		入学定員	200	200	200	200	200	200	
		志願倍率	4.1	4.0	3.4	3.6	7.4	4.5	
		定員充足率	1.1	1.0	1.1	1.0	1.2	1.1	
	人間学部	志願者数	1,535	1,244	1,284	1,776	1,200	1,408	
		合格者数	530	587	660	610	635	604	
		入学者数	214	217	248	212	230	224	
		入学定員	200	200	200	200	200	200	
		志願倍率	7.7	6.2	6.4	8.9	6.0	7.0	
		定員充足率	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	
※合格者数は第2志望合格を含む		志願者数	28,989	26,272	30,656	33,599	35,150	30,933	
		合格者数	10,399	11,209	11,413	11,815	12,175	11,402	
		入学者数	3,449	3,465	3,572	3,436	3,501	3,485	
		入学定員	3,155	3,155	3,155	3,155	3,155	3,155	
		志願倍率	9.2	8.3	9.7	10.6	11.1	9.8	
		定員充足率	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	

名城大学学部生における過去5年間の就職実績

資料9

学部名	学科名		平成22年度 卒業生	平成23年度 卒業生	平成24年度 卒業生	平成25年度 卒業生	平成26年度 卒業生
法学部	法学科	卒業者数 (A)	475	359	406	366	330
		就職希望者数 (B)	346	264	317	300	286
		就職者数 (C)	342	262	314	297	277
		大学院進学者数 (D)	9	5	9	5	7
		就職率 (C/B)	98.8%	99.2%	99.1%	99.0%	96.9%
		実就職率 (C/ (A-D))	73.4%	74.0%	79.1%	82.3%	85.8%
	応用実務法学科	卒業者数 (A)	173	172	163	167	167
		就職希望者数 (B)	138	145	136	147	148
		就職者数 (C)	137	143	135	142	146
		大学院進学者数 (D)	4	0	1	3	0
		就職率 (C/B)	99.3%	98.6%	99.3%	96.6%	98.6%
		実就職率 (C/ (A-D))	81.1%	83.1%	83.3%	86.6%	87.4%
	計	卒業者数 (A)	648	531	569	533	497
		就職希望者数 (B)	484	409	453	447	434
		就職者数 (C)	479	405	449	439	423
		大学院進学者数 (D)	13	5	10	8	7
		就職率 (C/B)	99.0%	99.0%	99.1%	98.2%	97.5%
		実就職率 (C/ (A-D))	75.4%	77.0%	80.3%	83.6%	86.3%
経営学部	経営学科	卒業者数 (A)	238	249	214	210	207
		就職希望者数 (B)	199	216	191	192	194
		就職者数 (C)	198	213	189	189	187
		大学院進学者数 (D)	3	0	0	1	2
		就職率 (C/B)	99.5%	98.6%	99.0%	98.4%	96.4%
		実就職率 (C/ (A-D))	84.3%	85.5%	88.3%	90.4%	91.2%
	国際経営学科	卒業者数 (A)	93	111	94	91	85
		就職希望者数 (B)	80	91	78	76	73
		就職者数 (C)	80	91	78	72	73
		大学院進学者数 (D)	0	3	3	2	2
		就職率 (C/B)	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%
		実就職率 (C/ (A-D))	86.0%	84.3%	85.7%	80.9%	88.0%
	計	卒業者数 (A)	331	360	308	301	292
		就職希望者数 (B)	279	307	269	268	267
		就職者数 (C)	278	304	267	261	260
		大学院進学者数 (D)	3	3	3	3	4
		就職率 (C/B)	99.6%	99.0%	99.3%	97.4%	97.4%
		実就職率 (C/ (A-D))	84.8%	85.2%	87.5%	87.6%	90.3%
経済学部	経済学科	卒業者数 (A)	205	249	176	202	210
		就職希望者数 (B)	177	205	157	174	194
		就職者数 (C)	175	204	156	170	186
		大学院進学者数 (D)	1	2	0	3	1
		就職率 (C/B)	98.9%	99.5%	99.4%	97.7%	95.9%
		実就職率 (C/ (A-D))	85.8%	82.6%	88.6%	85.4%	89.0%
	産業社会学科	卒業者数 (A)	115	118	108	109	104
		就職希望者数 (B)	90	97	89	94	93
		就職者数 (C)	87	94	86	91	93
		大学院進学者数 (D)	0	0	0	0	0
		就職率 (C/B)	96.7%	96.9%	96.6%	96.8%	100.0%
		実就職率 (C/ (A-D))	75.7%	79.7%	79.6%	83.5%	89.4%
	計	卒業者数 (A)	320	367	284	311	314
		就職希望者数 (B)	267	302	246	268	287
		就職者数 (C)	262	298	242	261	279
		大学院進学者数 (D)	1	2	0	3	1
		就職率 (C/B)	98.1%	98.7%	98.4%	97.4%	97.2%
		実就職率 (C/ (A-D))	82.1%	81.6%	85.2%	84.7%	89.1%

学部名	学科名		平成22年度 卒業生	平成23年度 卒業生	平成24年度 卒業生	平成25年度 卒業生	平成26年度 卒業生
理工学部	数学科	卒業者数 (A)	90	74	96	86	88
		就職希望者数 (B)	75	62	80	69	81
		就職者数 (C)	75	60	77	68	81
		大学院進学者数 (D)	3	3	6	5	3
		就職率 (C/B)	100.0%	96.8%	96.3%	98.6%	100.0%
		実就職率 (C/ (A-D))	86.2%	84.5%	85.6%	84.0%	95.3%
	情報工学科	卒業者数 (A)	184	146	120	142	164
		就職希望者数 (B)	114	91	83	112	136
		就職者数 (C)	113	89	81	112	135
		大学院進学者数 (D)	43	41	22	25	22
		就職率 (C/B)	99.1%	97.8%	97.6%	100.0%	99.3%
	電気電子工学科	実就職率 (C/ (A-D))	80.1%	84.8%	82.7%	95.7%	95.1%
		卒業者数 (A)	156	164	146	146	146
		就職希望者数 (B)	123	124	119	106	107
		就職者数 (C)	120	123	118	105	107
		大学院進学者数 (D)	22	29	20	30	37
		就職率 (C/B)	97.6%	99.2%	99.2%	99.1%	100.0%
	材料機能工学科	実就職率 (C/ (A-D))	89.6%	91.1%	93.7%	90.5%	98.2%
		卒業者数 (A)	109	104	95	87	100
		就職希望者数 (B)	51	58	51	50	61
		就職者数 (C)	51	58	51	50	60
		大学院進学者数 (D)	47	42	41	36	38
		就職率 (C/B)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%
	機械工学科	実就職率 (C/ (A-D))	82.3%	93.5%	94.4%	98.0%	96.8%
		卒業者数 (A)	209	158	131	138	167
		就職希望者数 (B)	141	116	93	91	128
		就職者数 (C)	141	116	93	91	127
		大学院進学者数 (D)	59	36	29	40	34
		就職率 (C/B)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%
	交通機械工学科	実就職率 (C/ (A-D))	94.0%	95.1%	91.2%	92.9%	95.5%
		卒業者数 (A)	157	134	129	126	142
		就職希望者数 (B)	124	101	108	110	115
		就職者数 (C)	123	101	108	107	115
		大学院進学者数 (D)	23	25	20	14	23
		就職率 (C/B)	99.2%	100.0%	100.0%	97.3%	100.0%
	社会基盤デザイン工学科	実就職率 (C/ (A-D))	91.8%	92.7%	99.1%	95.5%	96.6%
		卒業者数 (A)	137	116	117	94	98
		就職希望者数 (B)	113	89	96	85	82
		就職者数 (C)	113	88	96	83	82
		大学院進学者数 (D)	14	18	9	5	14
		就職率 (C/B)	100.0%	98.9%	100.0%	97.6%	100.0%
	環境創造学科	実就職率 (C/ (A-D))	91.9%	89.8%	88.9%	93.3%	97.6%
		卒業者数 (A)	108	86	99	83	111
		就職希望者数 (B)	91	71	86	76	103
		就職者数 (C)	91	71	86	76	103
		大学院進学者数 (D)	7	5	3	5	3
		就職率 (C/B)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	建築学科	実就職率 (C/ (A-D))	90.1%	87.7%	89.6%	97.4%	95.4%
		卒業者数 (A)	174	138	109	140	160
		就職希望者数 (B)	133	107	89	118	135
		就職者数 (C)	133	105	89	118	134
		大学院進学者数 (D)	21	20	12	18	19
		就職率 (C/B)	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	99.3%
	計	実就職率 (C/ (A-D))	86.9%	89.0%	91.8%	96.7%	95.0%
		卒業者数 (A)	1,324	1,120	1,042	1,042	1,176
		就職希望者数 (B)	965	819	805	817	948
		就職者数 (C)	960	811	799	810	944
		大学院進学者数 (D)	239	219	162	178	193
		就職率 (C/B)	99.5%	99.0%	99.3%	99.1%	99.6%
		実就職率 (C/ (A-D))	88.5%	90.0%	90.8%	93.8%	96.0%

学部名	学科名		平成22年度 卒業生	平成23年度 卒業生	平成24年度 卒業生	平成25年度 卒業生	平成26年度 卒業生	
農学部	生物資源学科	卒業者数 (A)	118	101	106	119	100	
		就職希望者数 (B)	98	80	85	104	89	
		就職者数 (C)	97	80	85	102	89	
		大学院進学者数 (D)	10	11	7	3	9	
		就職率 (C/B)	99.0%	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	
		実就職率 (C/ (A-D))	89.8%	88.9%	85.9%	87.9%	97.8%	
	応用生物化学科	卒業者数 (A)	110	124	115	104	103	
		就職希望者数 (B)	84	86	84	83	82	
		就職者数 (C)	82	84	84	80	82	
		大学院進学者数 (D)	20	20	22	11	17	
		就職率 (C/B)	97.6%	97.7%	100.0%	96.4%	100.0%	
		実就職率 (C/ (A-D))	91.1%	80.8%	90.3%	86.0%	95.3%	
	生物環境科学科	卒業者数 (A)	111	114	116	93	130	
		就職希望者数 (B)	73	85	91	67	103	
		就職者数 (C)	73	83	91	67	103	
		大学院進学者数 (D)	20	13	11	13	13	
		就職率 (C/B)	100.0%	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	
		実就職率 (C/ (A-D))	80.2%	82.2%	86.7%	83.8%	88.0%	
	計	卒業者数 (A)	339	339	337	316	333	
		就職希望者数 (B)	255	251	260	254	274	
		就職者数 (C)	252	247	260	249	274	
		大学院進学者数 (D)	50	44	40	27	39	
		就職率 (C/B)	98.8%	98.4%	100.0%	98.0%	100.0%	
		実就職率 (C/ (A-D))	87.2%	83.7%	87.5%	86.2%	93.2%	
薬学部	薬学科	卒業者数 (A)	1	* 200	209	224	245	
		就職希望者数 (B)	0	192	199	215	241	
		就職者数 (C)	0	192	199	215	241	
		大学院進学者数 (D)	0	5	4	6	3	
		就職率 (C/B)	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		実就職率 (C/ (A-D))	0.0%	98.5%	97.1%	98.6%	99.6%	
都市情報学部	都市情報学科	卒業者数 (A)	148	163	188	184	181	
		就職希望者数 (B)	111	122	144	154	156	
		就職者数 (C)	109	119	141	152	155	
		大学院進学者数 (D)	5	11	14	7	10	
		就職率 (C/B)	98.2%	97.5%	97.9%	98.7%	99.4%	
		実就職率 (C/ (A-D))	76.2%	78.3%	81.0%	85.9%	90.6%	
人間学部	人間学科	卒業者数 (A)	213	212	244	216	202	
		就職希望者数 (B)	166	178	203	197	185	
		就職者数 (C)	163	177	202	193	180	
		大学院進学者数 (D)	2	6	7	3	1	
		就職率 (C/B)	98.2%	99.4%	99.5%	98.0%	97.3%	
		実就職率 (C/ (A-D))	77.3%	85.9%	85.2%	90.6%	89.6%	
名城大学		卒業者数 (A)	3,324	3,292	3,181	3,127	3,240	
		就職希望者数 (B)	2,527	2,580	2,579	2,620	2,792	
		就職者数 (C)	2,503	2,553	2,559	2,580	2,756	
		大学院進学者数 (D)	313	295	240	235	258	
		就職率 (C/B)	99.1%	99.0%	99.2%	98.5%	98.7%	
		実就職率 (C/ (A-D))	83.1%	85.2%	87.0%	89.2%	92.4%	

*平成22年度の薬学部卒業生については、募集停止を行った医療薬学科および薬学科(4年制)の卒業生各1人を含む。

平成26年度大学等卒業者の就職状況調査（平成27年4月1日現在）

1. 調査内容

1) 調査依頼先 設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。

国立大学	21校	合計 112校
公立大学	3校	
私立大学	38校	
短期大学	20校	
高等専門学校	10校	
専修学校（専門課程）	20校	

2) 調査対象人員 6,250人

大学	4,770人
短期大学（※）	520人
高等専門学校（※）	400人
専修学校（専門課程）	560人

（※）母集団の男女構成比から短期大学は女子学生のみ、高等専門学校は男子学生のみを抽出

3) 調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況等につき調査を実施する。

4) 調査時期及び

	調査時期	発表時期
発表時期	平成26年10月1日	11月14日
	12月1日	1月20日
平成27年	2月1日	3月20日
	4月1日	5月19日

2. 調査結果の主な概要

【全体の概要】

- 大学等（大学、短期大学、高等専門学校）を合わせた就職率は96.7%（前年同期比2.0ポイント増）。専修学校を含めると96.5%（同2.0ポイント増）。
- 大学の就職率は96.7%（前年同期比2.3ポイント増）。このうち国公立大学の就職率は、97.7%（同1.0ポイント増）、私立大学は、96.3%（同2.6ポイント増）。
- 短期大学の就職率は、95.6%（前年同期比1.4ポイント増）。
- 高等専門学校及び専修学校の就職率は、それぞれ100.0%（前年同期比増減なし）、94.7%（同1.7ポイント増）。

【参考】

- 本調査における卒業者全体（※）に占める就職者の割合（大学のみ）「70.3%」（平成27年4月1日現在）

（※）卒業者全体には就職希望者その他、「進学希望者」、「自営業」、「家事手伝い」等を含む調査対象人員全体。

【男女別の概要】

- 男女別では、男子大学生の就職率は96.5%（前年同期比2.7ポイント増）、女子は96.9%（同1.7ポイント増）。また、国公立大学では、男子：97.1%、女子：98.3%、私立大学では、男子：96.3%、女子：96.4%となっている。

【文系・理系別の概要】※大学のみ

- 文系・理系別では、文系の就職率は96.5%（前年同期比2.5ポイント増）、理系の就職率は97.2%（同0.8ポイント増）となっている。

【地域別の概要】※大学のみ

- 地域別では、中部地区及び中国・四国地区の就職率が最も高く97.3%となっている。

大学、短期大学及び高等専門学校卒業予定者の4月1日現在の就職状況調査の推移

○就職率

【全体】

区分	平成9年4月	平成10年4月	平成11年4月	平成12年4月	平成13年4月	平成14年4月	平成15年4月	平成16年4月	平成17年4月	平成18年4月	平成19年4月	平成20年4月	平成21年4月	平成22年4月	平成23年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月	平成27年4月
大学	94.5%	93.3% (▲1.2)	92.0% (▲1.3)	91.1% (▲0.9)	91.9% (0.8)	92.1% (0.2)	92.8% (0.7)	93.1% (0.3)	93.5% (0.4)	95.3% (1.8)	96.3% (1.0)	96.9% (0.6)	95.7% (▲1.2)	91.8% (▲3.9)	91.0% (▲0.8)	93.6% (2.6)	93.9% (0.3)	94.4% (0.5)	96.7% (2.3)
うち：国公立	92.0%	90.7% (▲1.3)	92.4% (1.7)	93.6% (1.2)	93.1% (▲0.5)	92.9% (▲0.2)	94.8% (1.9)	94.3% (▲0.5)	94.0% (▲0.3)	94.4% (0.4)	96.4% (2.0)	97.5% (1.1)	96.6% (▲0.9)	94.5% (▲2.1)	93.5% (▲1.0)	95.4% (1.9)	95.3% (▲0.1)	96.7% (1.4)	97.7% (1.0)
私立	95.4%	94.2% (▲1.2)	91.8% (▲2.4)	90.3% (▲1.5)	91.5% (1.2)	91.8% (0.3)	92.2% (0.4)	92.7% (0.5)	93.4% (0.7)	95.5% (2.1)	96.3% (0.8)	96.7% (0.4)	95.4% (▲1.3)	90.8% (▲4.6)	90.1% (▲0.7)	92.9% (2.8)	93.4% (0.5)	93.7% (0.3)	96.3% (2.6)
短期大学	90.5%	86.6% (▲3.9)	88.4% (1.8)	84.0% (▲4.4)	86.8% (2.8)	90.2% (3.4)	89.6% (▲0.6)	89.5% (▲0.1)	89.0% (▲0.5)	90.8% (1.8)	94.3% (3.5)	94.6% (0.3)	94.5% (▲0.1)	88.4% (▲6.1)	84.1% (▲4.3)	89.5% (5.4)	94.7% (5.2)	94.2% (▲0.5)	95.6% (1.4)
高等専門学校	100.0%	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	98.3% (▲1.7)	95.7% (▲2.6)	100.0% (4.3)	98.5% (▲1.5)	96.7% (▲1.8)	98.8% (2.1)	99.6% (0.8)	100.0% (0.4)	99.5% (▲0.5)	98.7% (▲0.8)	100.0% (1.3)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)
総計	94.2%	92.8% (▲1.4)	91.8% (▲1.0)	90.5% (▲1.3)	91.5% (1.0)	92.0% (0.5)	92.5% (0.5)	92.8% (0.3)	93.1% (0.3)	94.8% (1.7)	96.3% (1.5)	96.8% (0.5)	95.8% (▲1.0)	91.9% (▲3.9)	90.7% (▲1.2)	93.6% (2.9)	94.3% (0.7)	94.7% (0.4)	96.7% (2.0)

【男子】

区分	平成9年4月	平成10年4月	平成11年4月	平成12年4月	平成13年4月	平成14年4月	平成15年4月	平成16年4月	平成17年4月	平成18年4月	平成19年4月	平成20年4月	平成21年4月	平成22年4月	平成23年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月	平成27年4月
大学	95.6%	94.6% (▲1.0)	93.2% (▲1.4)	91.9% (▲1.3)	92.3% (0.4)	92.5% (0.2)	93.2% (0.7)	93.0% (▲0.2)	93.3% (0.3)	95.5% (2.2)	96.6% (1.1)	96.6% (0.0)	95.9% (▲0.7)	92.0% (▲3.9)	91.1% (▲0.9)	94.5% (3.4)	93.2% (▲1.3)	93.8% (0.6)	96.5% (2.7)
うち：国公立	93.5%	92.6% (▲0.9)	94.5% (1.9)	94.7% (0.2)	93.0% (▲1.7)	92.5% (▲0.5)	94.3% (1.8)	93.7% (▲0.6)	91.5% (▲2.2)	95.3% (3.8)	96.5% (1.2)	97.0% (0.5)	96.6% (▲0.4)	94.1% (▲2.5)	92.5% (▲1.6)	96.0% (3.5)	94.5% (▲1.5)	95.9% (1.4)	97.1% (1.2)
私立	96.3%	95.4% (▲0.9)	92.8% (▲2.6)	91.0% (▲1.8)	92.1% (1.1)	92.5% (0.4)	92.9% (0.4)	92.8% (▲0.1)	93.7% (0.9)	95.6% (1.9)	96.6% (1.0)	96.5% (▲0.1)	95.7% (▲0.8)	91.4% (▲4.3)	90.6% (▲0.8)	93.9% (3.3)	92.8% (▲1.1)	93.1% (0.3)	96.3% (3.2)
高等専門学校	100.0%	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	98.3% (▲1.7)	95.7% (▲2.6)	100.0% (4.3)	98.5% (▲1.5)	96.7% (▲1.8)	98.8% (2.1)	99.6% (0.8)	100.0% (0.4)	99.5% (▲0.5)	98.7% (▲0.8)	100.0% (1.3)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)	100.0% (0.0)
総計	95.7%	94.8% (▲0.9)	93.5% (▲1.3)	92.2% (▲1.3)	92.6% (0.4)	92.6% (0.0)	93.3% (0.7)	93.2% (▲0.1)	93.5% (0.3)	95.6% (2.1)	96.9% (1.3)	96.9% (0.0)	96.3% (▲0.6)	92.9% (▲3.4)	92.0% (▲0.9)	95.2% (3.2)	94.0% (▲1.2)	94.5% (0.5)	96.9% (2.4)

【女子】

区分	平成9年4月	平成10年4月	平成11年4月	平成12年4月	平成13年4月	平成14年4月	平成15年4月	平成16年4月	平成17年4月	平成18年4月	平成19年4月	平成20年4月	平成21年4月	平成22年4月	平成23年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月	平成27年4月
大学	92.2%	90.5% (▲1.7)	89.2% (▲1.3)	89.5% (0.3)	91.2% (1.7)	91.5% (0.3)	92.2% (0.7)	93.2% (1.0)	93.8% (0.6)	95.0% (1.2)	96.0% (1.0)	97.3% (1.3)	95.4% (▲1.9)	91.5% (▲3.9)	90.9% (▲0.6)	92.6% (1.7)	94.7% (2.1)	95.2% (0.5)	96.9% (1.7)
うち：国公立	88.7%	86.6% (▲2.1)	88.2% (1.6)	91.5% (3.3)	93.4% (1.9)	93.6% (0.2)	95.4% (1.8)	95.0% (▲0.4)	96.9% (1.9)	93.5% (▲3.4)	96.4% (2.9)	98.0% (1.6)	96.5% (▲1.5)	94.9% (▲1.6)	94.6% (▲0.3)	94.8% (0.2)	96.0% (1.2)	97.4% (1.4)	98.3% (0.9)
私立	93.5%	91.9% (▲1.6)	89.6% (▲2.3)	88.8% (▲0.8)	90.5% (1.7)	90.8% (0.3)	91.2% (0.4)	92.7% (1.5)	92.9% (0.2)	95.5% (2.6)	95.9% (0.4)	97.0% (1.1)	95.1% (▲1.9)	90.2% (▲4.9)	89.6% (▲0.6)	91.7% (2.1)	94.2% (2.5)	94.4% (0.2)	96.4% (2.0)
短期大学	90.5%	86.6% (▲3.9)	88.4% (1.8)	84.0% (▲4.4)	86.8% (2.8)	90.2% (3.4)	89.6% (▲0.6)	89.5% (▲0.1)	89.0% (▲0.5)	90.8% (1.8)	94.3% (3.5)	94.6% (0.3)	94.5% (▲0.1)	88.4% (▲6.1)	84.1% (▲4.3)	89.5% (5.4)	94.7% (5.2)	94.2% (▲0.5)	95.6% (1.4)
総計	91.7%	89.5% (▲2.2)	89.0% (▲0.5)	87.9% (▲1.1)	90.1% (2.2)	91.2% (1.1)	91.6% (0.4)	92.4% (0.8)	92.7% (0.3)	94.1% (1.4)	95.7% (1.6)	96.7% (1.0)	95.3% (▲1.4)	90.9% (▲4.4)	89.5% (▲1.4)	91.9% (2.4)	94.7% (2.8)	95.0% (0.3)	96.6% (1.6)

(注)1. ()内は、前年度同期の調査からの増減値である(▲は減少)。

2. 平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。

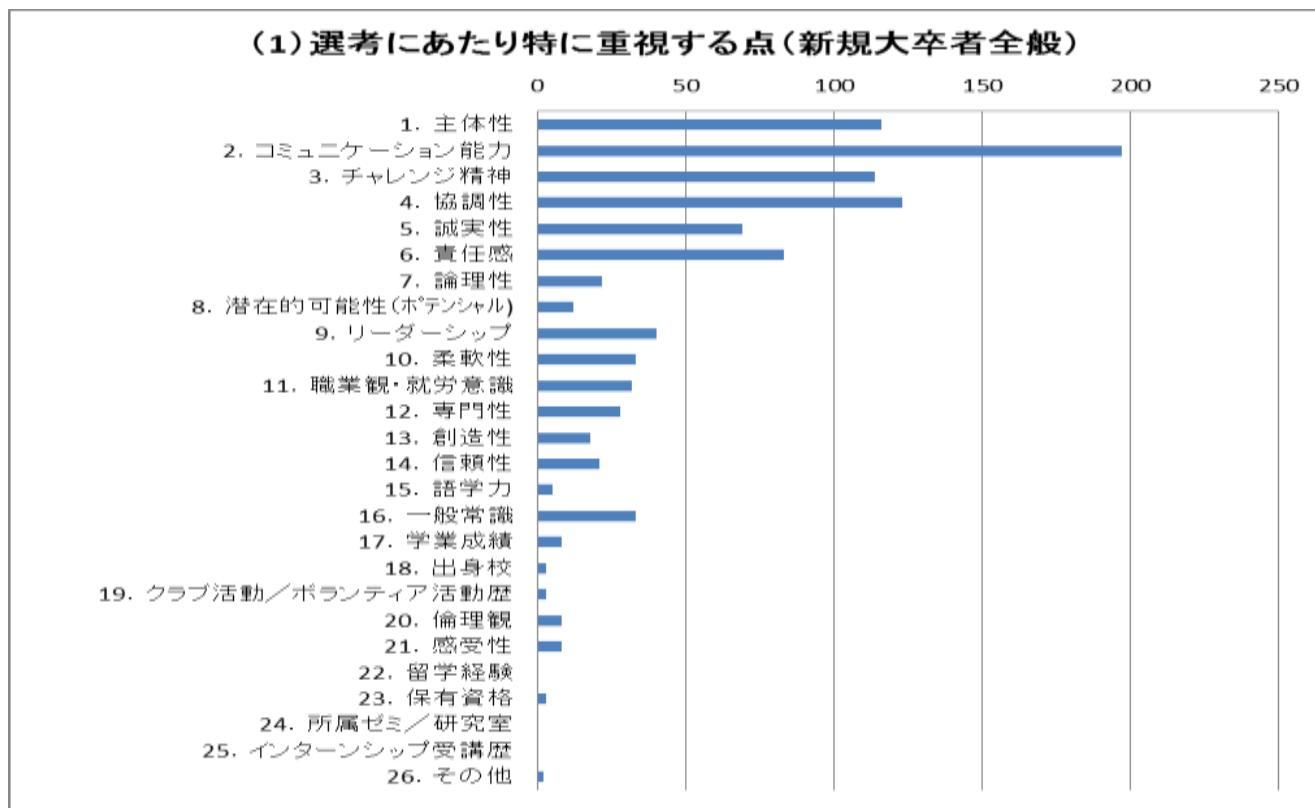
3. 数字に下線が引かれているものは、統計開始以来最も低い値を示し、斜体は最も高い値を示す。

平成 27 年度 企業との就職情報交換会アンケート結果について（抜粋）
 (回答：企業出席者)

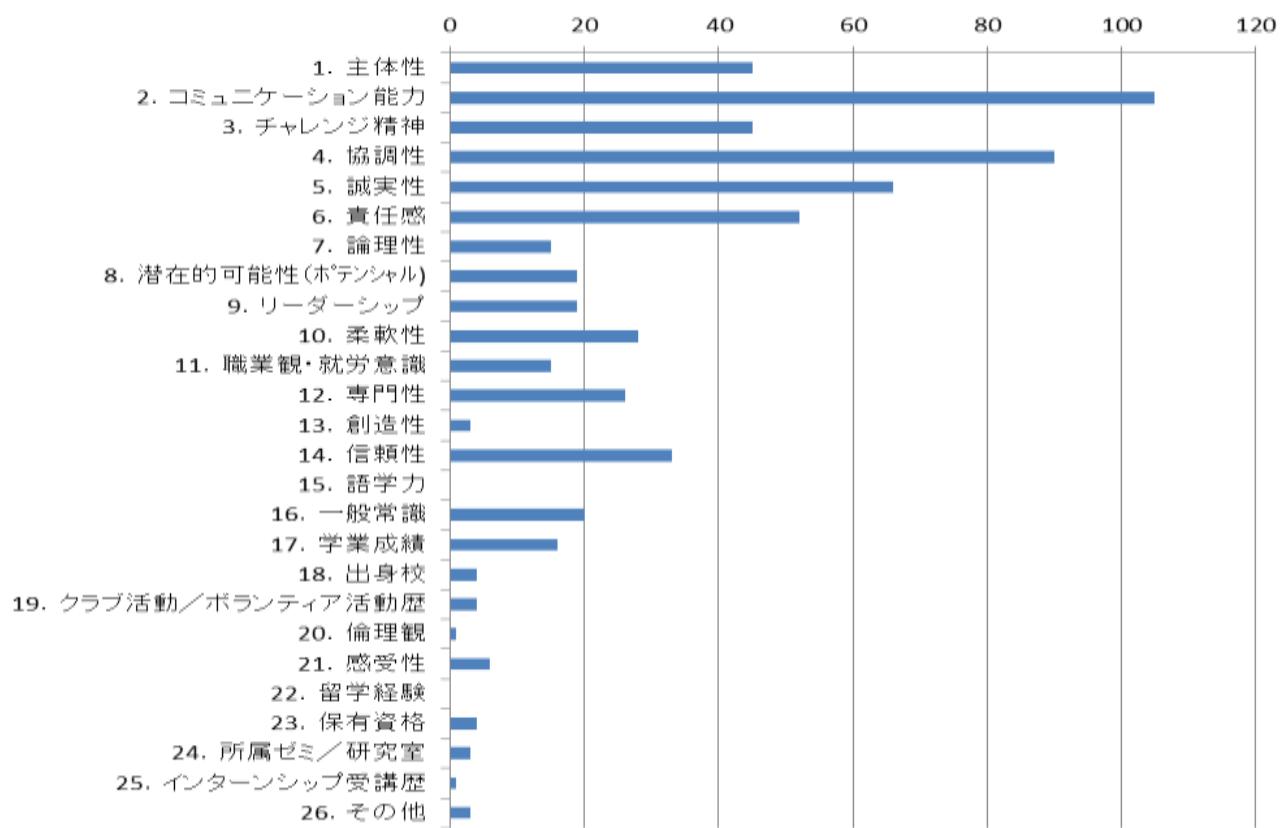
- 日時：平成 27 年 10 月 30 日（金）14：00～19：00
- 会場：ホテル名古屋ガーデンパレス
- 出席者：企業 287 社 458 名（昨年 289 社 416 名）、大学：118 名（教員 82 名、役員 8 名、職員 28 名）

採用状況についてのアンケート② 集計結果

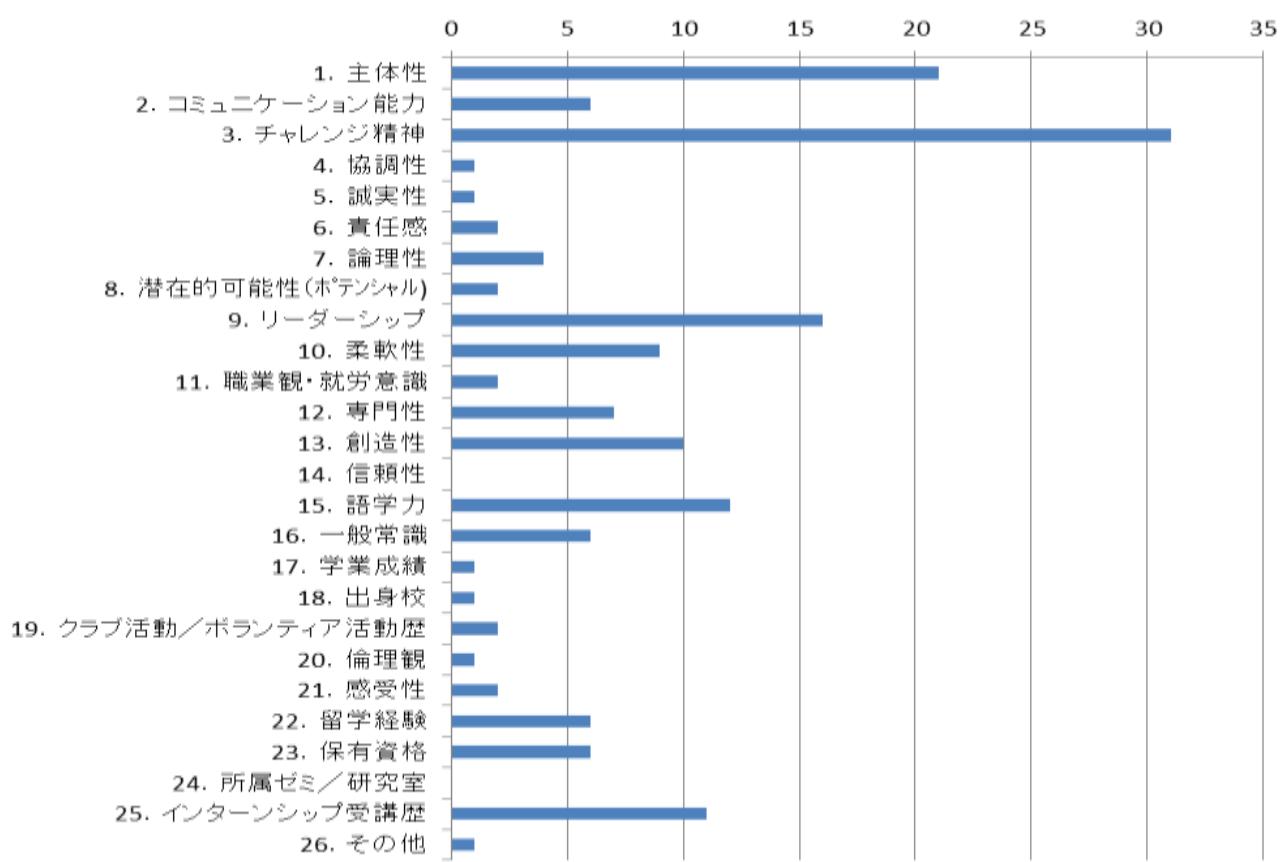
2・1. 以下の選択肢の内、選考にあたり特に重視する点、及び本学と他大学の学生の比較についてご回答ください（5つまで）。（選択肢は、日本経済団体連合会 新卒採用に関するアンケートから引用）



(2) 名城大生が他大学の学生と比べ優れていると思われる点



(3) 名城大生が他大学の学生と比べ不足していると思われる点



採用状況についてのアンケート②

本日は、ご多忙の折、本学の就職情報交換会にご参加いただき、誠に有難うございました。
皆様の貴重なご意見を参考に、今後ともより良い関係を築いていけるよう努めてまいりますので、誠に恐縮ですが、
アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

貴社名

1. 採用状況についてお尋ねします。

(1) 2016年4月採用の募集（追加募集など）

① 現在募集中

職種	募集人数		
	文系 人	理系 人	不問 人
	文系 人	理系 人	不問 人
	文系 人	理系 人	不問 人

② 終了した

③ 検討中

※継続中の求人や追加求人がございましたら、「名城大学求人受付NAVI」からご登録頂きますようよろしく
お願い申し上げます。URLは、封筒に記載してございます。

(2) 2017年3月卒の採用について（差支えない範囲でご記入願います。いただいた情報を公表することはございません。）

- ① 会社説明会の開始時期 _____月（今年度と比べ）早くする・遅くする・同じ・未定）
② エントリーシートの受付開始時期 _____月（今年度と比べ）早くする・遅くする・同じ・未定）
③ 筆記試験・面接試験等の試験開始時期 _____月（今年度と比べ）早くする・遅くする・同じ・未定）
④ 内々定の通知開始時期 _____月（今年度と比べ）早くする・遅くする・同じ・未定）

障がい者の採用について

採用予定 あり・なし →ありの場合 身体障がい・精神障がい

特記事項（ ）

留学生の採用について

採用予定 あり・なし

→ありの場合 国籍・必要とする語学等（ ）

(3) インターンシップを実施されますか。実施の場合、参加の有無をその後の採用でどの程度重視されますか。

- ① インターンシップを 実施する・実施しない
② 実施する場合、何月頃に開催されますか _____月頃
③ 実施する場合、参加の有無をその後の採用で 重視する・少しは重視する・重視しない



2-1. 以下の選択肢の内、選考にあたり特に重視する点、及び本学と他大学の学生の比較についてご回答ください(5つまで)。

	下記①～⑯の番号をお答えください				
(1)選考にあたり特に重視する点(新規大卒者全般)					
(2)名城大生が他大学の学生と比べ <input checked="" type="checkbox"/> 優れていると思われる点					
(3)名城大生が他大学の学生と比べ <input checked="" type="checkbox"/> 不足していると思われる点					

選択肢

①主体性	②コミュニケーション能力	③チャレンジ精神	④協調性
⑤誠実性	⑥責任感	⑦論理性	⑧潜在的可能性(ポテンシャル)
⑨リーダーシップ	⑩柔軟性	⑪職業観・就労意識	⑫専門性
⑬創造性	⑭信頼性	⑮語学力	⑯一般常識
⑰学業成績	⑱出身校	⑲クラブ活動／ボランティア活動歴	⑳倫理観
⑰感受性	⑲留学経験	㉑保有資格	㉒所属ゼミ／研究室
㉓インターンシップ受講歴	㉔その他(内容をご記載ください)		

(選択肢は、日本経済団体連合会 新卒採用に関するアンケートから引用)

2-2. 上記①～⑯の要素のうち、最も重視する要素は何ですか。また学生にその要素を確認するために面接等で行う具体的な質問等があれば、お差支えのない範囲でご記入ください。

最も重視する要素 (上記①～⑯の番号をお答えください)	面接等で当該要素を確認するための具体的質問の例

3. 以下の選択肢のうち、貴社のお考えに近いものを選び、○をお付けください。(複数回答可)

- Ⓐ名城大学も含め「大学教育全般」に求めるもの
- Ⓑ特に名城大学の在学生・卒業生で 優れていると思われるもの
- Ⓒ特に名城大学の在学生・卒業生で 不足していると思われるもの

	Ⓐ大学教育全般に求めるもの	Ⓑ特に名城大学の在学生・卒業生で <input checked="" type="checkbox"/> 優れているものの	Ⓒ特に名城大学の在学生・卒業生で <input checked="" type="checkbox"/> 不足しているものの
①専門分野の知識			
②論理的思考力や課題解決能力			
③チームを組んで特定の課題に取り組む経験			
④専門分野に関連する他領域の基礎知識			
⑤職業意識や勤労観醸成に役立つプログラム			
⑥ディベートやプレゼンテーションの能力			
⑦一般教養の知識			
⑧外国語によるコミュニケーション能力			
⑨異文化理解に繋がるような体験			
⑩その他()			

■お帰りの際に受付のアンケート回収箱にお入れいただきますようお願ひいたします。

■「就職情報交換会についてのアンケート①」への回答も併せてお願ひいたします。

ご協力ありがとうございました。 2015.10.30 名城大学キャリアセンター